

工事説明書

フルオート（全自動）

ヒートポンプ給湯機（家庭用）

■パワフル高圧力型〈屋外用〉

システム品番
貯湯ユニット品番
ヒートポンプユニット品番

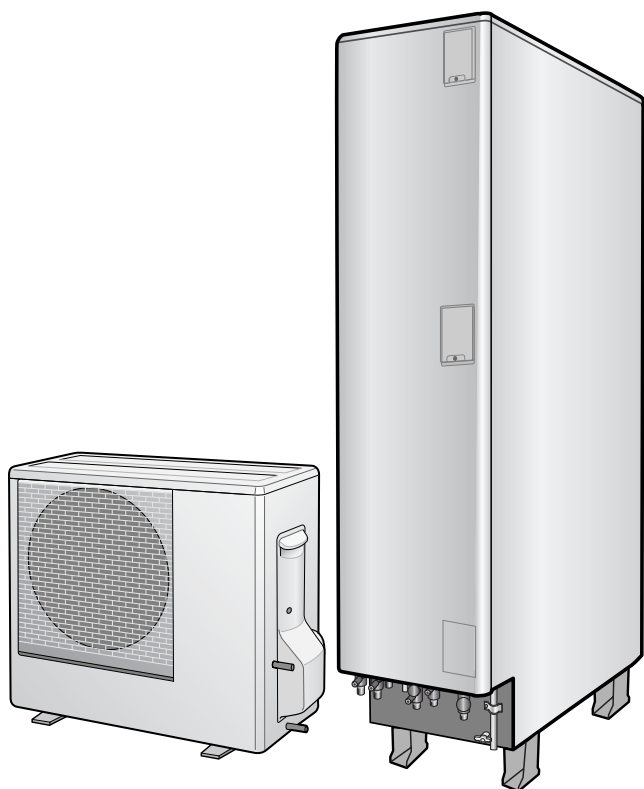
HE-WU37BQS
HE-WU37BQ
HE-PWU45B

HE-WU46BQS
HE-WU46BQ
HE-PWU60B

■高圧力型〈屋外用〉

HE-W37BQS
HE-W37BQ
HE-PW45B

HE-W46BQS
HE-W46BQ
HE-PW60B



*工事をされる方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障・事故などは、保証の対象になりませんので、ご注意ください。設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

このヒートポンプ給湯機は申請によって、通電制御型としての料金割引が適用されます。電力契約をしている電力会社に、電力契約の申請手続きを行ってください。

準備

安全上のご注意

2

施工上のご願い

3

関係寸法図

4

付属品/リモコン/専用別売部材

6

据付

据え付け場所を決める

8

据え付ける

10

配管

配管工事をする前に

12

排水配管する

13

給水・給湯配管する

14

ヒートポンプユニット配管する

16

ふろ配管する

18

保温・凍結予防工事する

22

配線

連絡配線する

24

リモコン配線する

25

電源工事する

26

アース工事する

27

点検

試運転する

28

試運転後に…

33

チェックシート

34

各電力会社別電力契約と対応電力制度表示

裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■アース工事（D種接地工事）を行う
工事は「電気工事に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う
（故障や漏電のときに感電の原因になります）



■上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して施工する
（事故、故障の原因になります）

■専用のブレーカーを単独で使う
（他の機器と併用したとき、発熱による火災の原因になります）

■電源電線は確実に取り付ける
（発熱して火災の原因になります）

■試運転時に漏電しゃ断器の作動を確認する
（万一の不作為で、故障や感電の原因になります）

■重量に十分耐えられる所に据え付ける
（転倒により事故の原因になります）

■工事は必ず指定の部品を使い、工事説明書に従って確実に
（火災や感電、水漏れの原因になります）



■ガス類容器や引火物の近くに据え付けない
（本体のスパークによる発火の原因になります）

■ヒートポンプユニットは屋内に設置しない
（冷媒が漏れたとき、酸素不足のおそれがあります）

■ヒートポンプユニットはベランダ手すり近くに設置しない
（お子様が上り、手すりを越えるなどして落下のおそれがあります）



注意



■貯湯ユニットの脚はアンカーボルトで、天部は固定金具で固定する
（地震などによって転倒してけがをするおそれがあります）

■壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行う
（ネジとラス網との接触部過熱により、火災の原因になります）

■ドレン工事は工事説明書に従って確実に行う
（周囲が浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■間接排水工事をする
（タンクの破損による水漏れの原因、また汚水が逆流してタンクに入ると水質の変化により健康を害するおそれがあります）

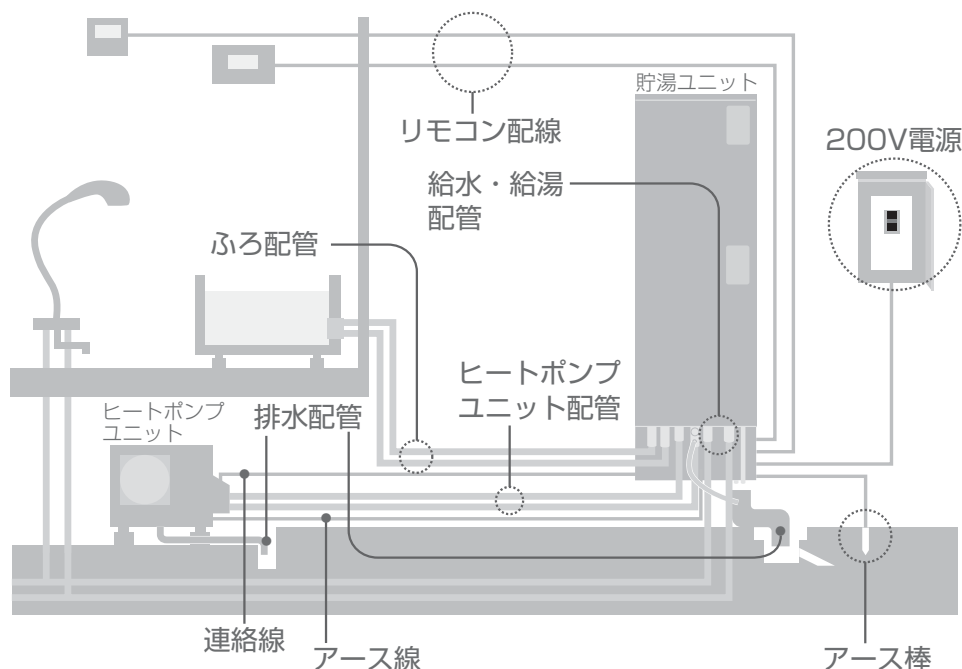
■凍結予防をする
（配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります）



■防水・排水処理をしていない床面に設置しない
（屋内、階下などに浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■ヒートポンプユニットの吹出口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因になります）

- ガス機器から電気機器へ変更をする際（ガス給湯機から電気温水器やエコキュートへの取替など）は、事前にガス事業所への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。



各工事の完了後は、チェックシート（P.34～35）で不具合がないか確認してください。

■ 工事について

- 貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの設置は、各地域の条例に基づいてください。
- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、必ず指定工事業者が行ってください。
- 電源は節電機に接続しないでください。機器故障の原因となります。
- アース（接地）工事は、万一の感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に基づいて、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- 上水道に直結する工事は、当該水道局の条例に基づき、認定水道工事業者が指定された配管材料を使って施工してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。井戸水は使用しないでください。また水道水であっても塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域ではヒートポンプ給湯機の使用をさけてください。ヒートポンプユニット内の熱交換器にスケールが付着し、短期間にお湯が沸かなくなります。
- ソーラー（太陽熱温水）システムには接続しないでください。高温水で機器故障の原因となります。
- 貯湯ユニットは必ずヒートポンプユニットと接続してください。
- ヒートポンプユニット・貯湯ユニットは屋外に設置してください。

■ 配管の材質選定について

- 使用地域の水質により、銅管の銅イオンの溶出が多い場合があり、せっけん、湯あかと反応して青色の銅せっけんが生成され、浴そうの水面付近に青い汚れが付くことがあります。このような現象が発生するおそれがあるときは銅管は使用せず、当社専用別売部材の樹脂管または三層管をご使用ください。（青い汚れの付着を軽減できます）

■ 給水圧力について

- 給水圧力は300 kPa以上が必要です。給水圧力が低いと十分な性能が得られません。

パワフル高圧力型	300 kPa以上
高圧力型	200 kPa以上

- ・ 給水圧力は圧力計により、1階で静水圧を測定してください。給水配管は20A銅管または16A樹脂管としてください。（配管径が小さいと水圧が低下します）

・ 給水圧力の目安確認方法

近くの給水栓から水を出し、市販のバケツで満水になる時間を測定します。（1階で測定）
下表の時間内に満水になれば、300 kPa以上の給水圧力があります。

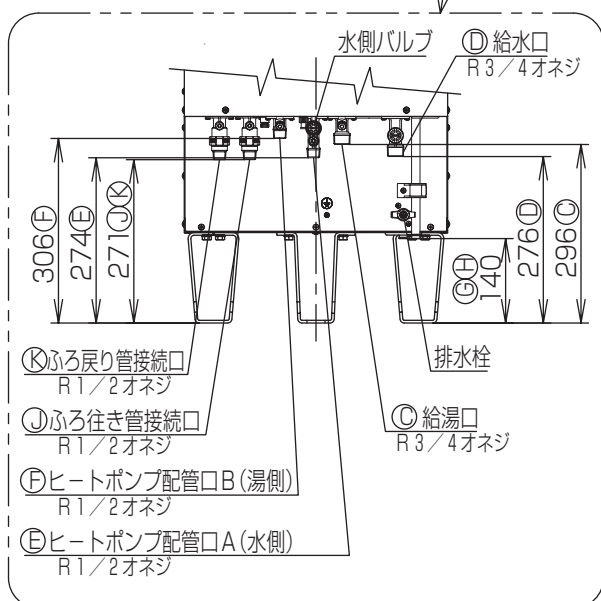
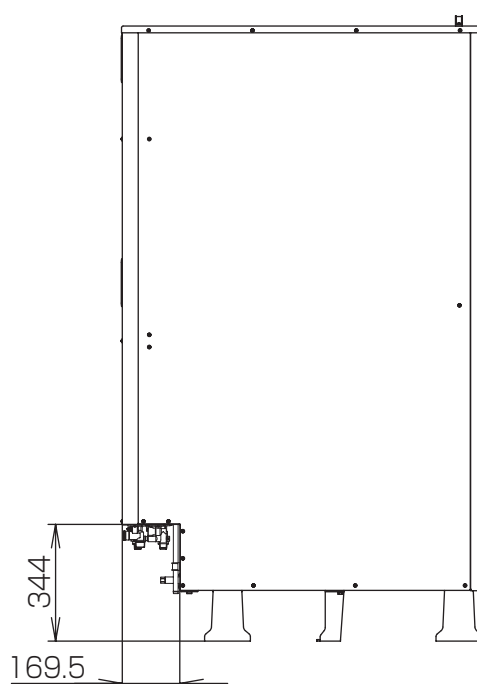
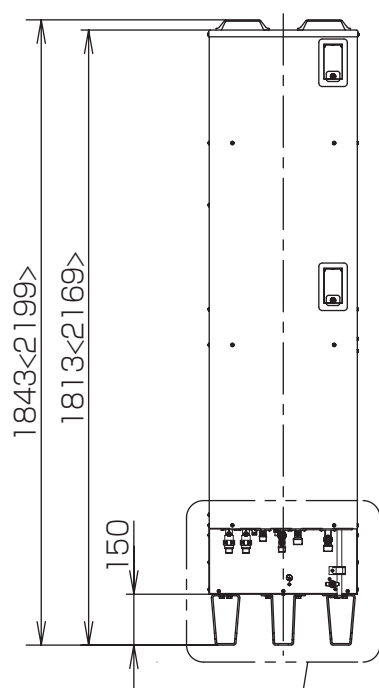
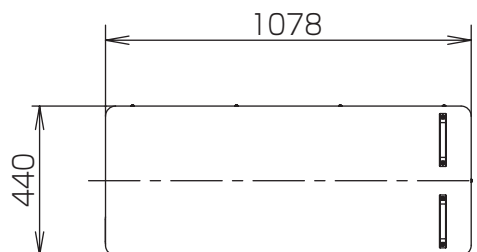
バケツ容量	8 L	10 L	12 L	15 L
2バルブタイプ（水側全開）	25秒	31秒	38秒	47秒
サーモスタットタイプ（水側）	27秒	33秒	40秒	50秒

（バケツの容量は裏面に表示されています）

貯湯ユニット

■ 外形寸法図

〔単位：mm〕

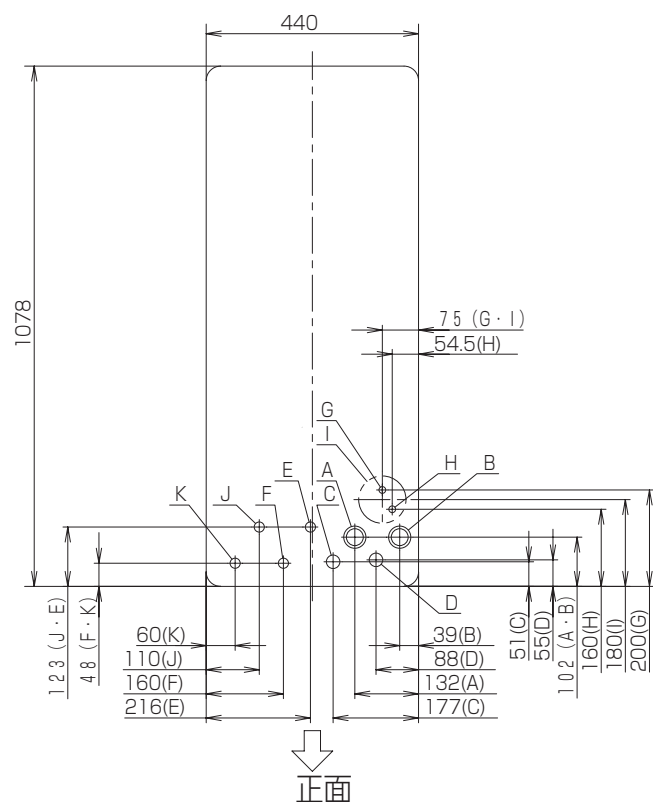


配管位置

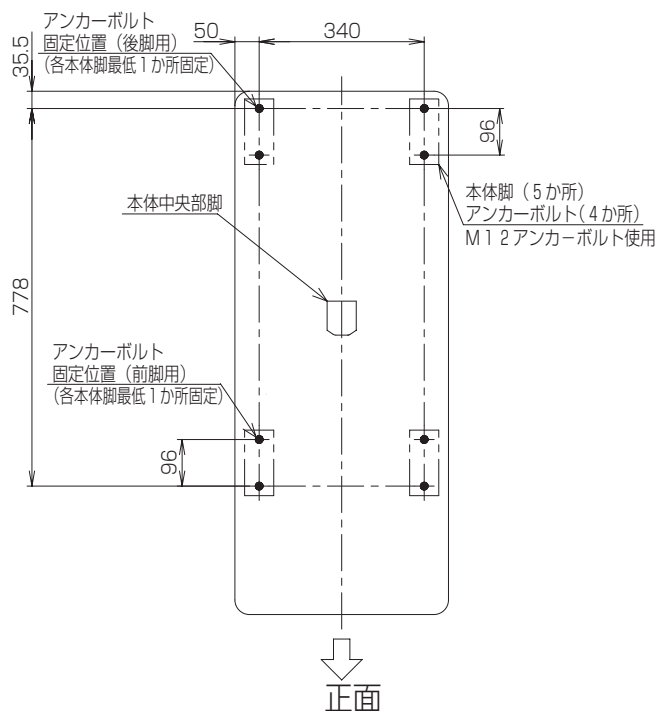
- A：電源電線、ヒートポンプユニット連絡配線貫通穴 (φ40. 5穴・ブッシング付)
- B：リモコン線貫通穴 (φ40. 5穴・ブッシング付)
- C：給湯口 R3/4 オネジ
- D：給水口 R3/4 オネジ
- E：ヒートポンプ配管口A (水側) R1/2 オネジ
- F：ヒートポンプ配管口B (湯側) R1/2 オネジ
- G：排水口 (φ15)
- H：ドレン口 (φ15)
- I：排水エルボ (別売品) 位置
- J：ふろ行き管接続口 R1/2 オネジ
- K：ふろ戻り管接続口 R1/2 オネジ

・ < > 寸法は460Lタイプ

■配管位置図



■アンカーボルト位置図

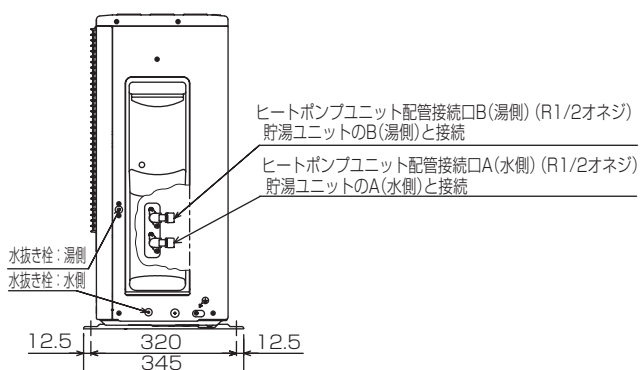
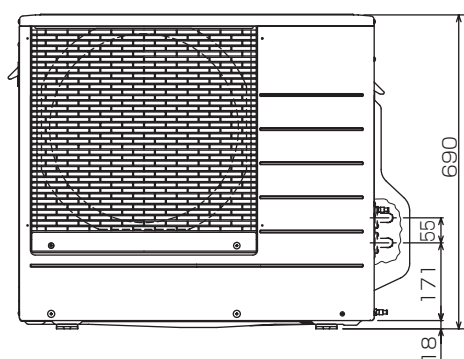
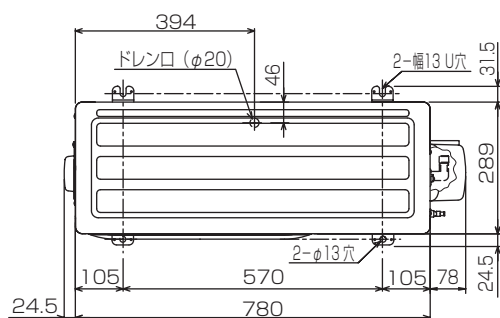


準
備

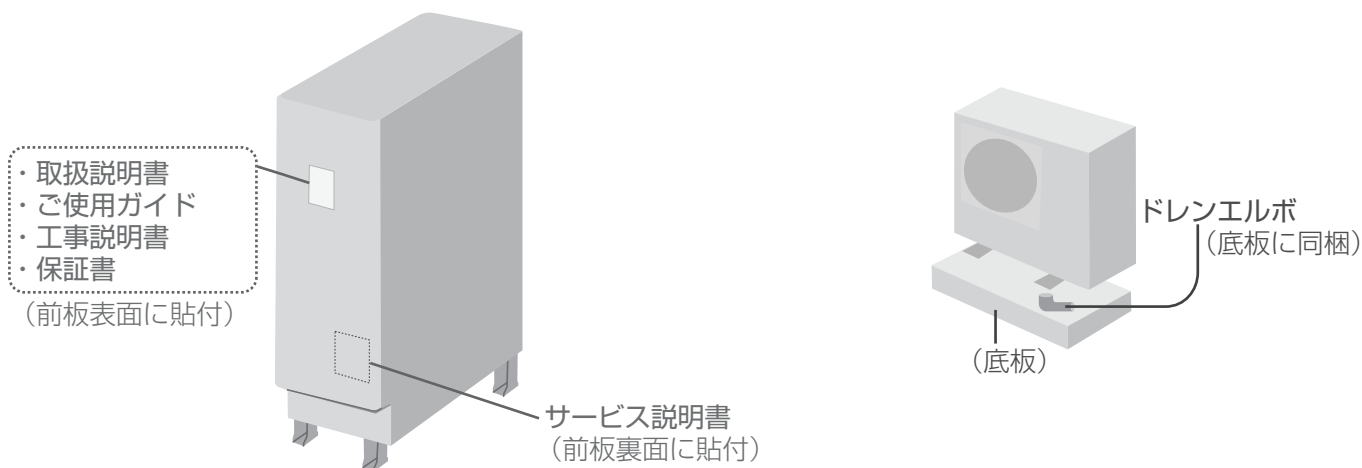
ヒートポンプユニット〈全機種共通〉

■外形寸法

〔単位：mm〕



付属品



リモコン（別売品）

このヒートポンプ給湯機は、別売品のコミュニケーションリモコンまたはボイスリモコンが必要です。
また、増設リモコンを追加することができます。

コミュニケーションリモコン (台所・浴室リモコンセット)	ボイスリモコン (台所・浴室リモコンセット)	増設リモコン
HE-RQFBW	HE-RQVBW	HE-RQVBZ

専用別売部材

■標準施工時の部材一覧（樹脂管配管：ユニット間配管長5 mの部材組合わせ例）

工事名	部材名		品番	（備考）	参照 ページ
据付工事	耐震固定金具セット	RC床用	AD-3303DA2		10
	脚部化粧力バー	4方向	AD-HE37WF-C		
	樹脂置台	高さ：10 cm	CZ-UB4-C		11
排水配管工事	ドレンホース（ヒートポンプユニット用）		内径φ15	現地調達	13
	排水エルボ		AD-HEC04HEL	（※2）	
	排水配管		外径φ60	現地調達	
給水・給湯 配管工事	給水配管（架橋PE管）		16A	現地調達（※1）	14
	給湯配管（架橋PE管）		16A		
	ユニオンアダプター		16A		
	給水側止水栓		AD-HESB66A	（※2）	14
ヒートポンプ ユニット 配管工事	ヒートポンプユニット循環配管セット		AD-HEHS20PE		16
	＜同梱部品＞				
ふろ配管工事	ふろ接続アダプター		フルオート用	S型	AD-HQSA-ST3
				L型	AD-HQSA-LT3
	＜同梱部品＞				
	・耐候性断熱材付架橋PE管		10A・10m		
	・3心VVVFケーブル		φ2.0×8m	・給水側止水栓	1個
	・PF管		7m	・ドレンチューブ	1個
	・ユニオンアダプター		4個	・排水エルボ	1個
	・断熱材		4個	・パッキン	4個
	断熱材付架橋PE管		13A×50 m	AD-HWPE350D	18
			13A×10 m	AD-HWPE310D	
凍結予防工事	ユニットバス		φ15.88用	ストレート	AD-HEBC-4SW
	取付金具		(2セット入り)	L曲がり	AD-HEBC-4LW
	漏れ検査治具		フルオート用	AD-G381-Z	21
	配管化粧版		□200	AD-3700GT-M	
電気工事	連絡線		VVFケーブル	3心・50 m	AD-HEVF-A50
			PF管	50 m	AD-HEC02P50
リモコン	リモコン		シールド付きリモコンコード	2心・10 m	AD-HERS-210
	200V電源		電源電線	VVF φ2.0/3.5 mm ²	現地調達
	アース		アース棒	AD-3200	

- ・（※1） 本文に記載の部材を推奨します。
- ・（※2） ヒートポンプユニット循環配管セットに同梱されています。
- ・別売部材の詳細は、パナソニックエコキュートカタログの「専用部材一覧」をご覧ください。
- ・各部材使用時は、必ず同梱の説明書に従い工事をしてください。

据え付け場所を決める

据え付け場所を確認する

下記の条件を満たす場所に、お客様の同意のもとで据え付けてください。

- 次の場所への設置は避ける。
 - ・ 最低気温が -10°C 以下になる。
 - ・ 湿気が多い、火気・引火物の近く。
- ヒートポンプユニットは…
 - ・ 風通しの良い場所を選定する。
 - ・ 沸き上げ中および凍結予防運転中に運転音があるため、寝室の近くや、ご近所の迷惑になる場所は避ける。
(運転時に運転音や振動を発生し吹出口からは冷風が出ます)
 - ・ 隣家・テレビ・無線機のアンテナと3m以上離す。
- 水が流出しても支障がなく、防水・排水ができる。
- 排出されるドレン水が排水溝などに導ける。
- 搬入搬出、配管工事、保守点検、性能維持のため、周囲にスペースが確保できる。(P.9)

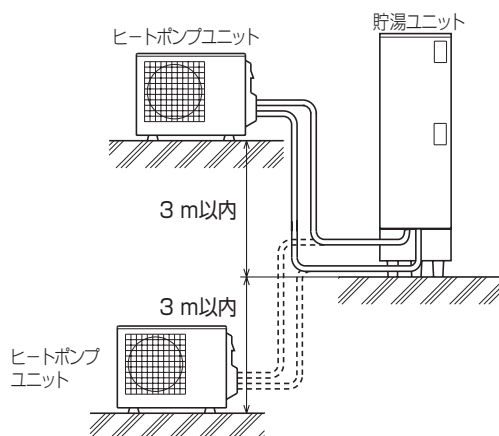
* 硫化ガス成分が多い地域、機械油などの油分の多い場所ではヒートポンプユニットの寿命は短くなることがあります。

* 海浜地域で潮風が直接当たる場所や温泉地域など特殊な場所では機器が正常に動作しなくなる恐れがありますので、据え付けしないでください。

■ 貯湯ユニットとヒートポンプユニット、浴そう間の高低差

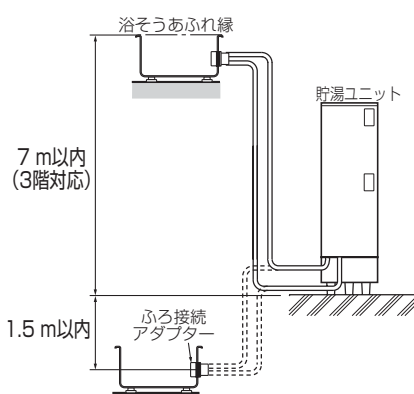
- 高低差がある場合の配管条件を確認し、据え付け場所を決めてください。

・ ヒートポンプユニットと貯湯ユニット

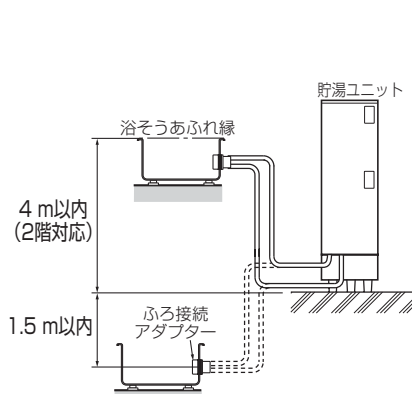


・ 浴そうと貯湯ユニット

パワフル高圧力型



高圧力型



据え付けスペースを確認する

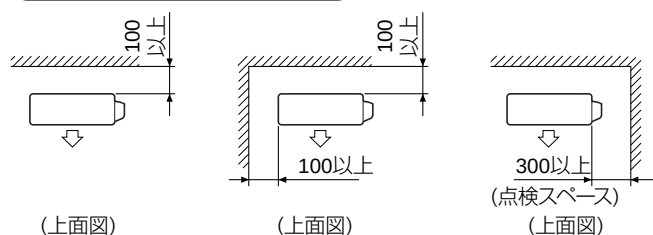
据付け所要スペースは、「配管工事をする前に」(P.12)も参考にして確認してください。

■ ヒートポンプユニットの据え付け所要スペース

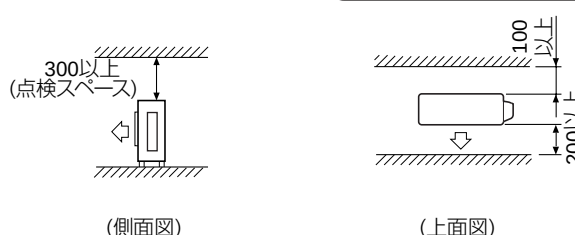
- 吹出側に対して前・後・左・右・上・下のうち少なくとも3方向を開放し、通風路を確保してください。
やむをえず2方向しか開放できない場合、沸き上げ能力が低下する場合があります。
- 周囲に壁などの障害物がある場合は、下図に従ってください。

[単位：mm]

吹出側に障害物がない場合



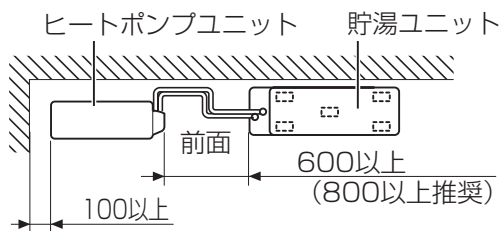
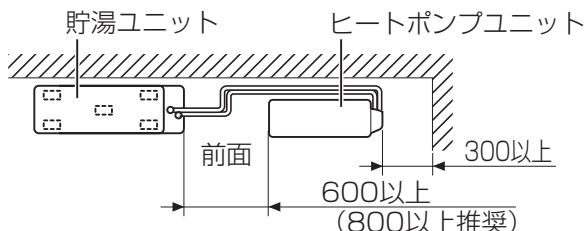
吹出側に障害物がある場合



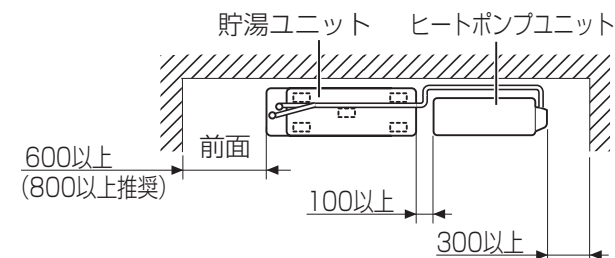
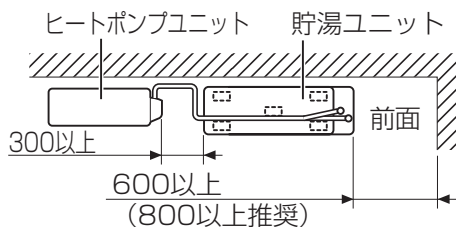
■ 貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の据え付け所要スペース

- 配管にはヒートポンプユニットから出る風が当たらないように配置してください。
- 貯湯ユニットの上面は300mm以上の点検スペースが必要です。

●前方配管の例



●後方配管の例



据 付 2 据え付ける

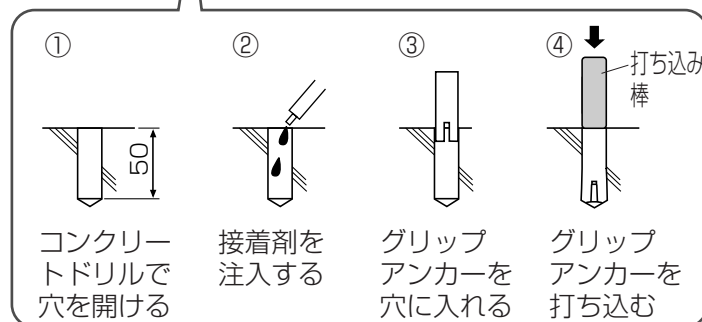
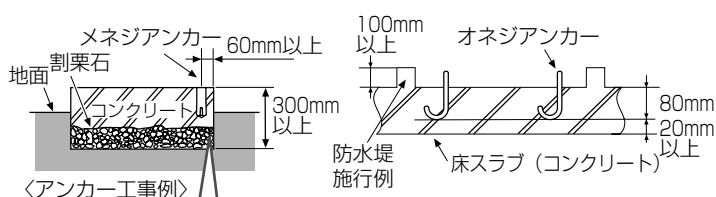
貯湯ユニットを据え付ける

準備： タンクが満水になると重くなるため、床面の強度が十分か確認する。またはコンクリート床の基礎工事を行う。

・コンクリートの必要圧縮強度：18.3MPa (180kgf/cm²) 以上

1 アンカーを打ち込む

■後打ちアンカーの場合 ■埋め込みアンカーの場合



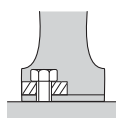
水準器で水平を確認する！

2 貯湯ユニットの木枠を外し、設置する

●設置の直前まで木枠は外さない。(空水時は転倒のおそれ)

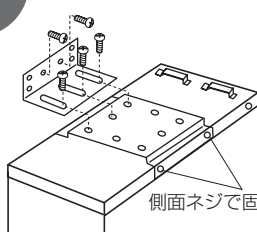
3 脚部をアンカーボルトで固定する

(4か所)



●アンカーボルトの引き抜き強度
・370Lタイプ:12000N以上
・460Lタイプ:15000N以上

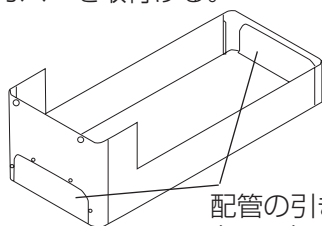
4 上部を固定金具で固定する



●固定金具は耐震固定金具セット (品番: AD-3303DA2) に同梱されています。
●アンカーボルトの引き抜き強度
・2450N以上
(引き抜き強度が4900N以上に耐える壁や桟を設ける)
●2階以上に据え付ける場合は、必ず固定してください。

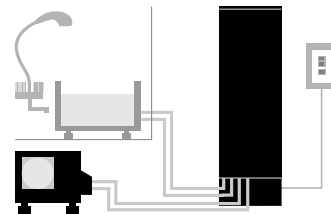
■風の強い場所のとき

●凍結予防のため、脚部化粧カバーを取付ける。



配管の引き出し
(P.12) に合わせて
外してください。

●壁中にラス網がある場合は、電氣的に絶縁された状態になるようにしてください。
(アンカーボルトまたは木ネジと、ラス網の接触部が過熱するおそれ)



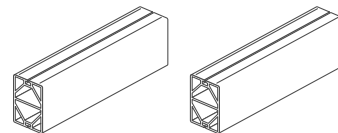
ヒートポンプユニットを据え付ける

水準器で水平を確認する！

1

樹脂置台を置く

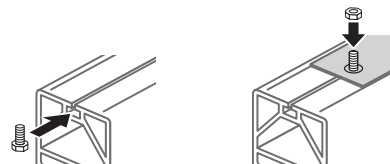
- 屋外、床置きにて前後左右の水平を確かめて据え付ける。
(傾くとドレン漏れのおそれ)



2

脚部をボルトで固定する

(4か所)



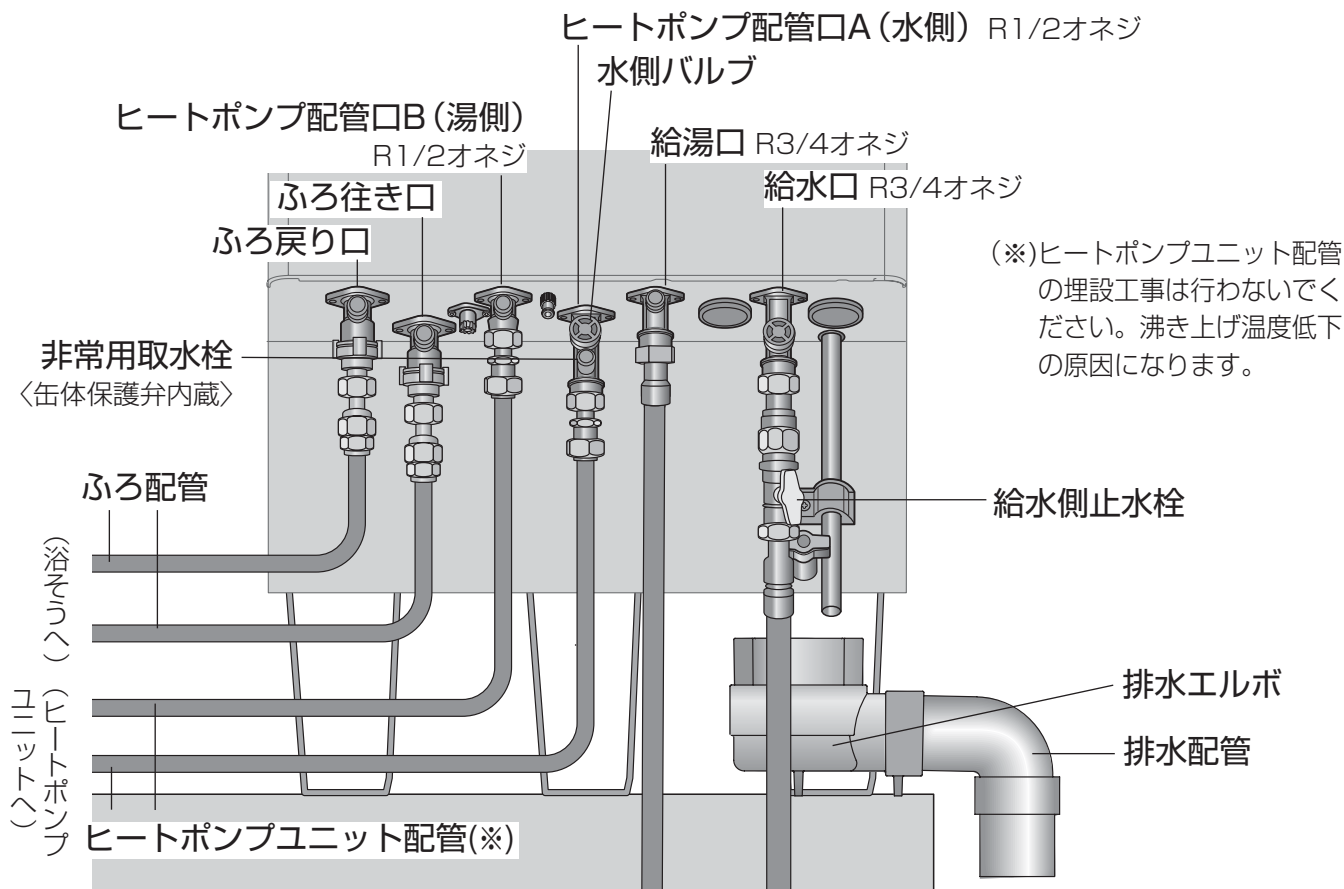
樹脂置台
(品番：CZ-UB4-C)
・耐荷重：1個あたり950 N(97kgf)
以上

■積雪地帯では…

- ヒートポンプユニットを高脚置台（品番：CZ-UD16-C）の上に据え付け、室外機屋根（品番：CZ-UY27-C）を設けてください。
- 吸込口、吹出口が積雪でふさがれたり、天板に積雪すると故障の原因となります。高脚置台はアンカーボルト固定などにより、転倒防止をしてください。

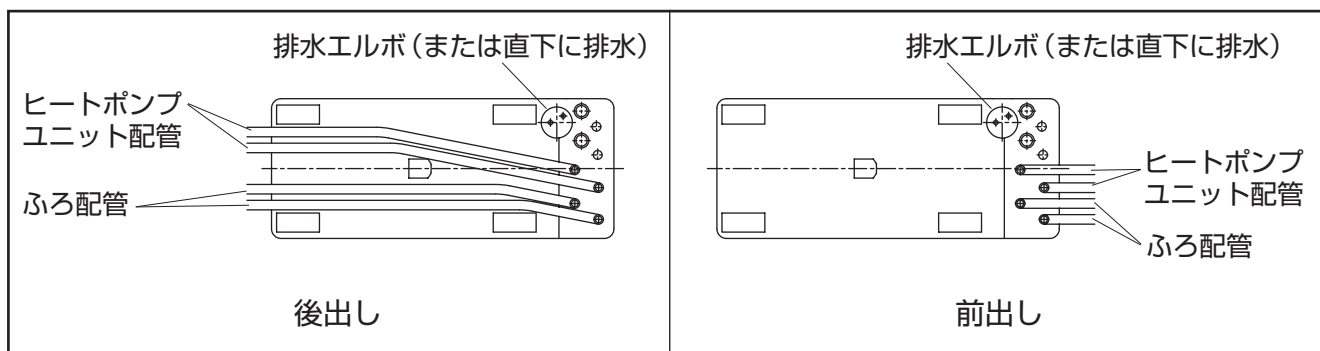
据
付

配管工事をする前に



■ 配管の引き出し

配管の引き出しは下図を参考にして配管してください。(上面から見た図)



■ 配管材料による制約条件

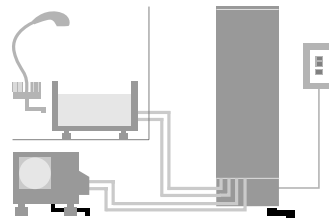
配管材料によって、配管長や曲がり数が制限されたり、断熱材の必要厚さが変わります。必ず下表の制約条件に従ってください。(故障の原因になります)

● ヒートポンプユニット配管

材 料		配管長	曲がり(片道)	断熱材の厚さ
銅管	φ12.7	～5 m	5か所以内	10 mm以上
		5～15 m	6か所以内	20 mm以上
耐熱性 架橋PE管	10A	～5 m	5か所以内	10 mm以上
		5～15 m	6か所以内	20 mm以上
アルミ三層管	10A	～5 m	5か所以内	10 mm以上
		5～15 m	6か所以内	20 mm以上

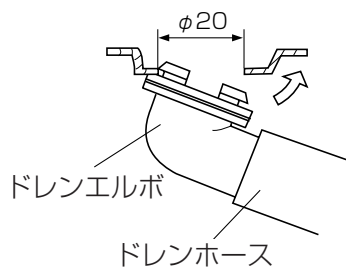
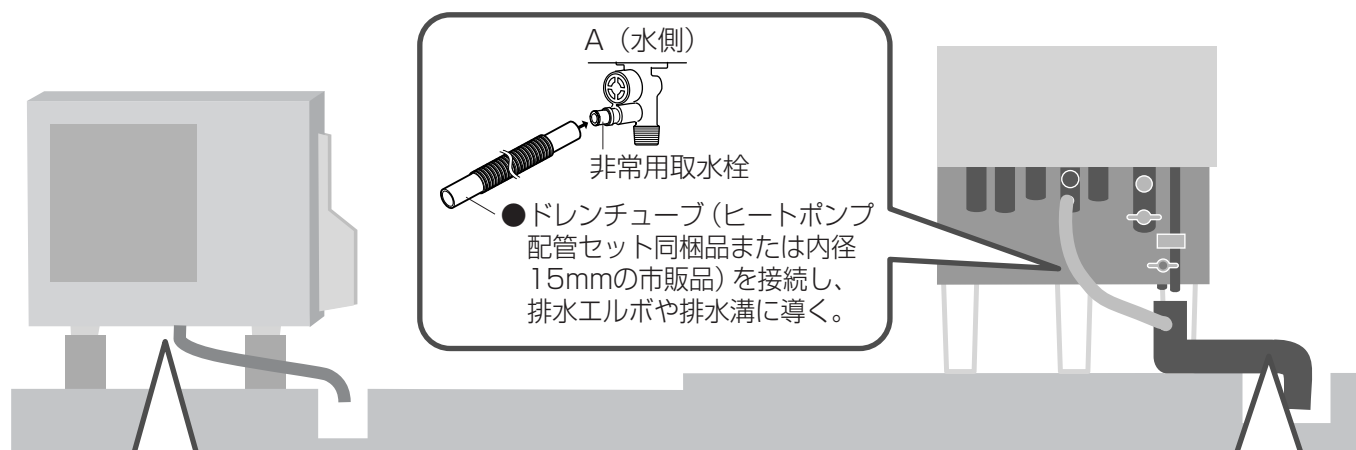
● ふろ配管

材 料		配管長	曲がり(片道)	断熱材の厚さ
銅管	φ12.7	～5 m	3か所まで	10 mm以上
	φ15.88	5～15 m	10か所まで	
架橋PE管	13A	～5 m	10か所まで	
		5～15 m		



排水処理をする

排水は、排水溝などに導くか、近くに排水溝を設けてください。(排水が確認できる場所に排水してください)

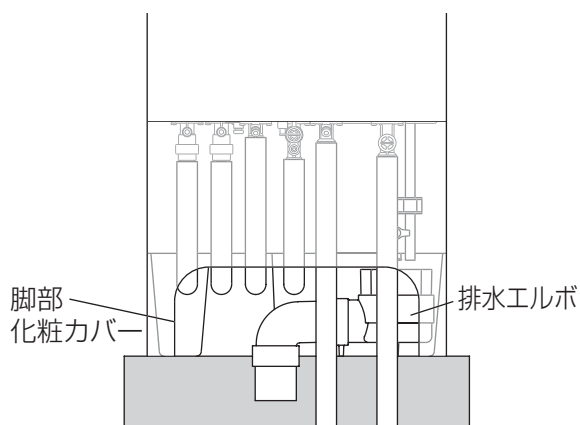


- ドレンホースは下り勾配にし、波うちがないようにして、排水溝へ導く。
- 差し込み部はシールをしてドレンホースが抜けないようにする。

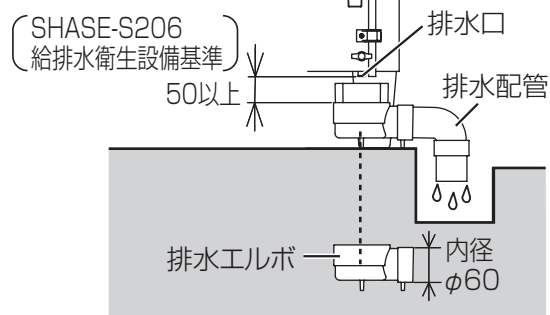
■ 凍結のおそれがある場合

ドレンエルボを使用せず、下部に排水溝、またはホッパーを設けてください。
(ドレン水が凍結し、沸き上げ運転に支障をきたす場合があります)

■ 脚部化粧カバー使用時の排水エルボ設置工事例

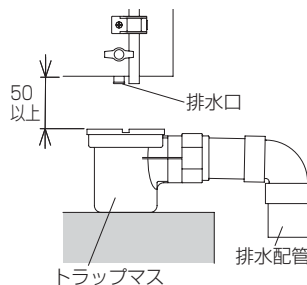


(単位：mm)



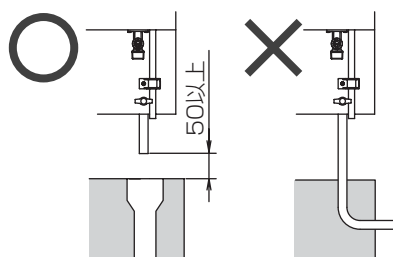
- 排水経路には、必ず50 mm以上の吐水口空間を設けて、間接排水してください。
- 25 L/分以上の排水ができる配管であること。
- 排水配管は、90℃以上の耐熱を有する材料を使用してください。

■ 下水ガスが逆流するおそれがある場合



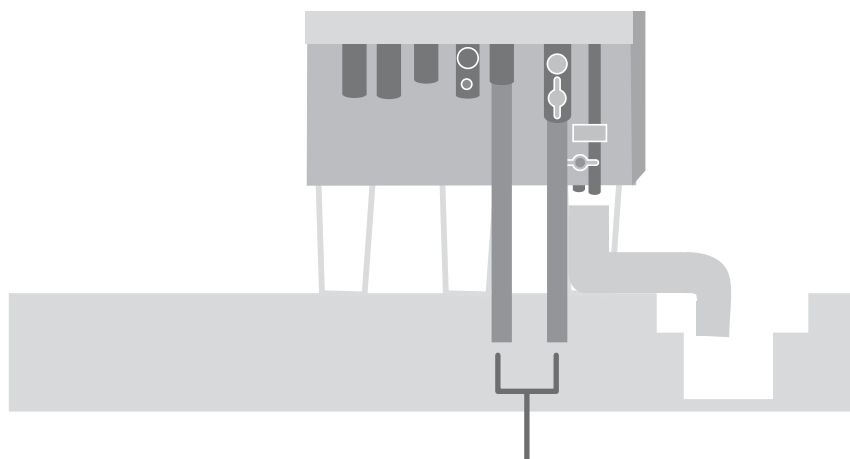
- 下水ガスによる排水配管および製品の腐食を防止するため、トラップマスを使用してください。
(品番:AD-HETRO1)
※二重封水(トラップ)はしないでください。
(水が流れなくなります)

■ 排水口直下に排水する場合

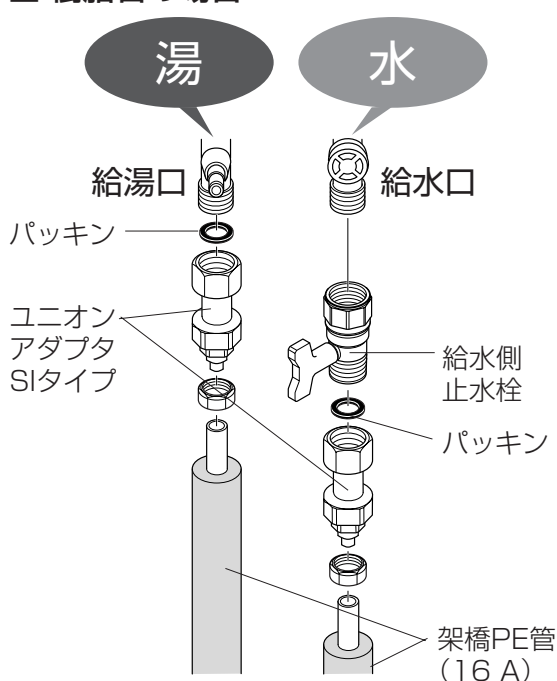


- 下方延長は間接排水した後、延長してください。
(負圧によりタンクが破損するおそれ)

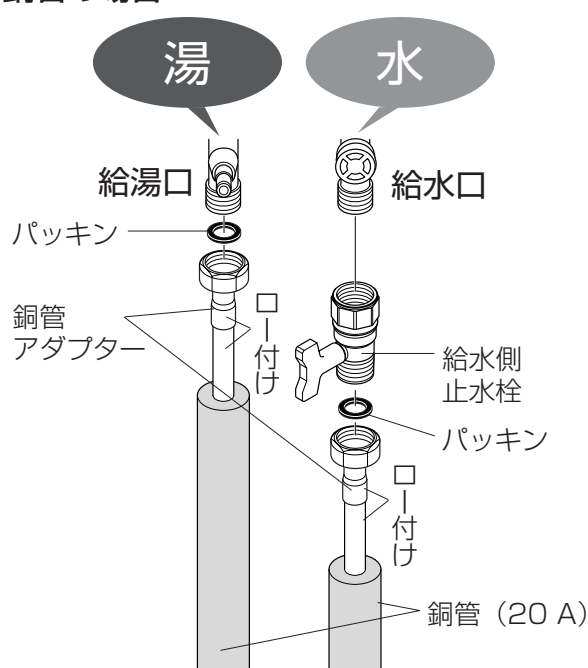
給水・給湯配管する



■ 樹脂管の場合



■ 銅管の場合



	給水側	給湯側
架橋PE管 (16 A)	三菱樹脂(株) HC-16HON10B (25 m)	三菱樹脂(株) HC-16HON10P (25 m)
	HC-16HON10B-50M (50 m)	HC-16HON10P-50M (50 m)
ユニオン アダプター SIタイプ	三菱樹脂(株) XL-20-16F	

お願い

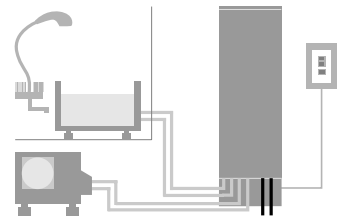
- 架橋PE管は断熱材などで必ず保護してください。太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れします。(接続部分等、絶対に露出しないでください)
- 給水側止水栓は専用別売部材をご使用ください。その他の配管および配管部材は現地調達してください。
- 既設の配管で老朽化している場合は使用しないでください。

〈給水配管〉

- 高水圧地区や、給水圧力が500kPaを超える場合は戸別給水用減圧弁を設けてください。
- 給水側止水栓(品番: AD-HESB66A)は必ず設けてください。長期間使用しないときの水抜き、タンク内の掃除のときが必要です。
- 配管接続部のシール材は耐食性のある材料を使用してください。

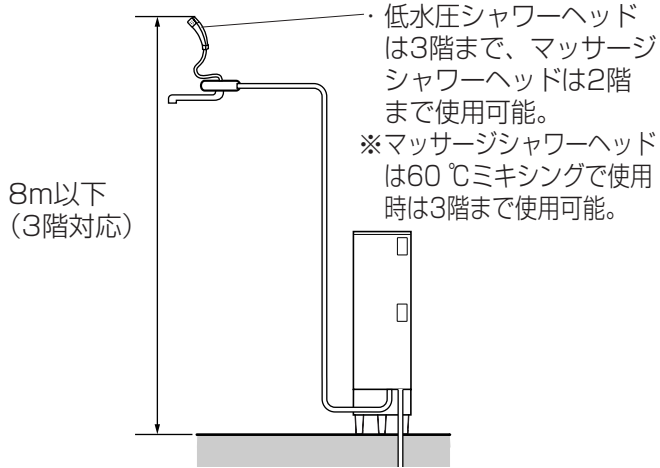
〈給湯配管〉

- 配管接続部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。

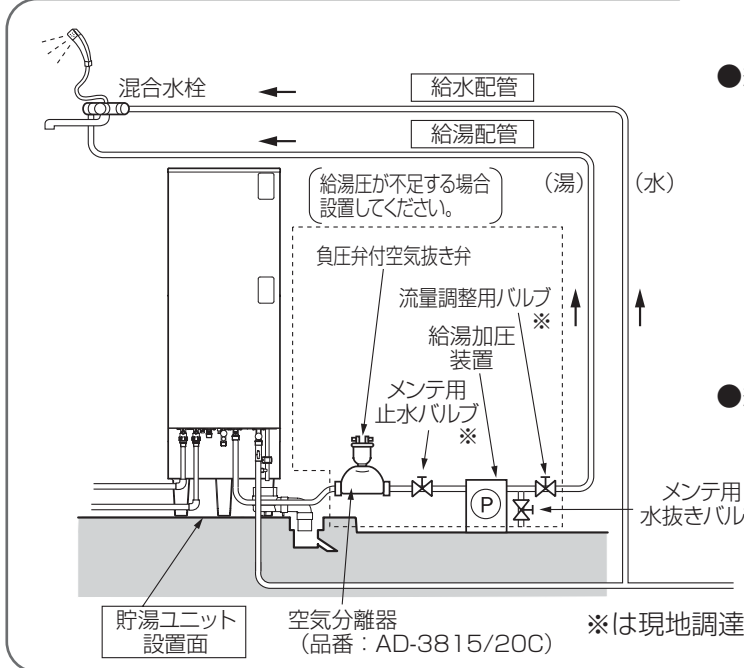
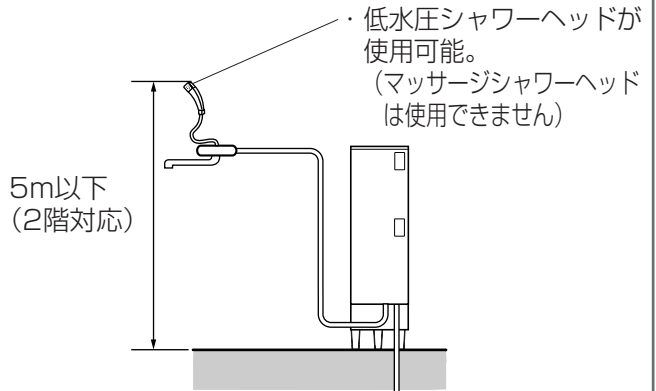


2階、3階給湯の場合

■ パワフル高圧力型



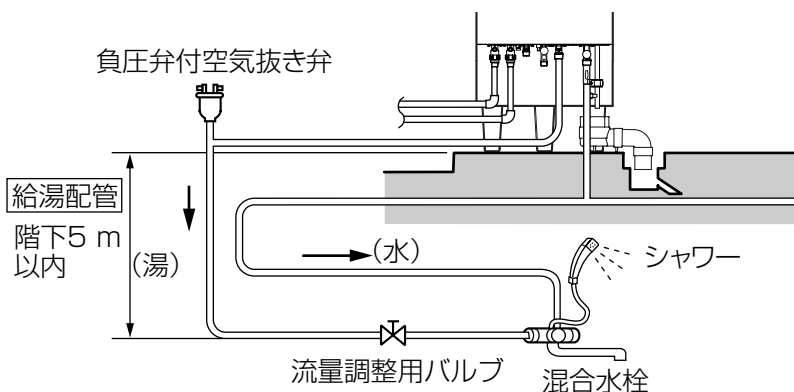
■ 高圧力型



- 給湯圧が不足する場合は左図に従ってください。
 - ・給湯加圧装置
(テラル(株) 品番：PH-203GT05、PH-203GT1)
 - ・給湯加圧ポンプの最大出力は100 W以下
 - ・タンク破損防止のため、必ず負圧弁付空気抜き弁を取り付ける。
(品番：AD-3815B-S)
 - ・流量調整用バルブの開度は、給湯加圧装置がエアーがみせず、混合水栓の流量が多すぎないように調整する。
- 給湯加圧装置は、パワフル高圧力型には対応できません。

配管

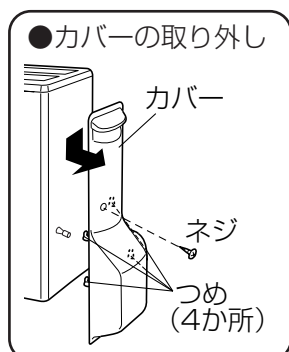
階下給湯の場合



- 貯湯ユニット設置面より、下方5m以内としてください。
- タンク破損防止のため、必ず
 - ・負圧弁付空気抜き弁
(品番：AD-3815B-S)
 - ・流量調整用バルブ(現地調達)
を取り付けてください。

ヒートポンプユニット配管する

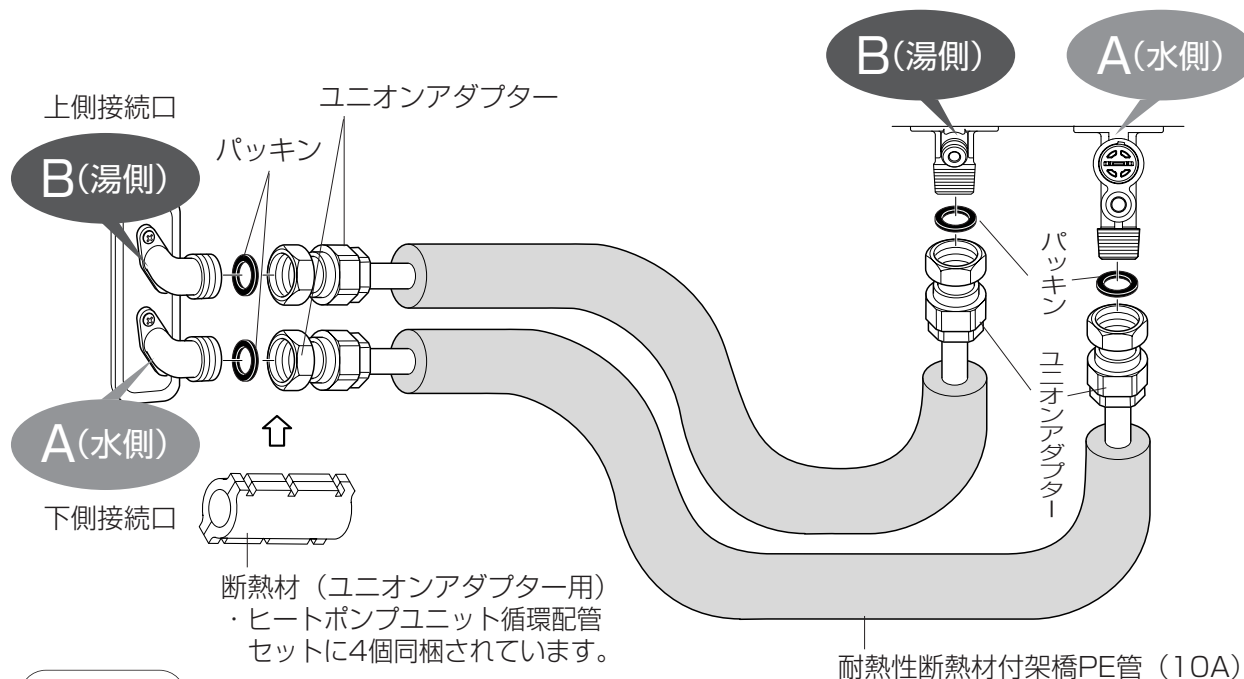
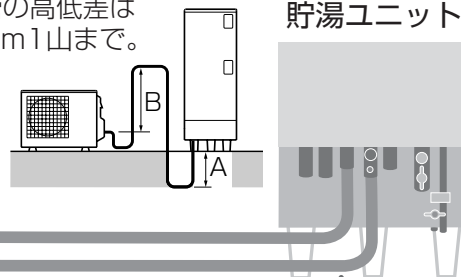
樹脂管を使うとき



ヒートポンプユニット

- 鳥居配管の高低差は
 $A+B < 3$ m 1山まで。

貯湯ユニット

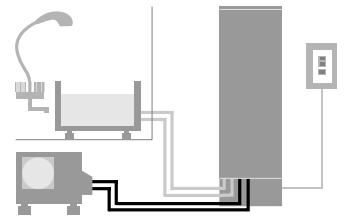


お願い

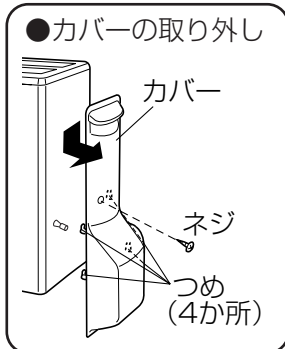
- ヒートポンプ配管はA—A、B—B 正しく接続してください。(運転が停止します)
- 次の状態で配管してください。

	標準	最大
配管長	5m以下(片道)	15m以下(片道)
曲がり	5か所以内(片道)	6か所以内(片道)
断熱材の厚さ	10mm以上	20mm以上

- アルミ三層管も使用できます。
(接続方法は、同梱の説明書をご覧ください)
- ツインチューブ配管では、正常な運転ができません。
(A—A、B—Bの間で熱交換する)
それぞれ独立したシングル配管をご使用ください。
- ふる用樹脂管や指定品以外を使用しないでください。(変形して水漏れのおそれ)
- 架橋PE管は断熱材などで必ず保護してください。太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れします。
(接続部分等、絶対に露出しないでください)
- パッキンは、耐熱性のある材料を使用してください。(耐熱温度：90℃以上)
- フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。
(50 cm以内、長くなると循環流量が低下)



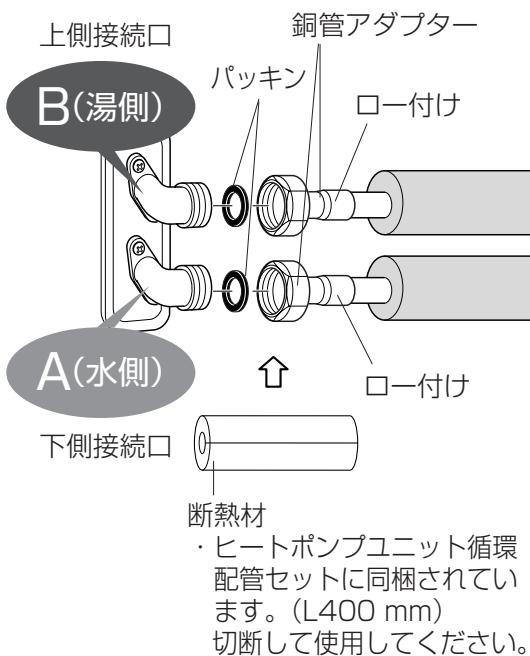
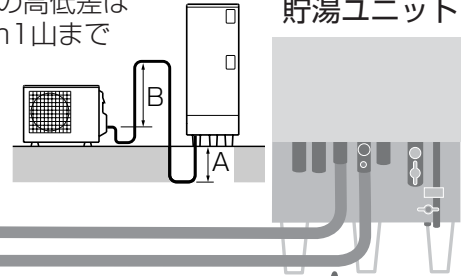
銅管を使うとき



ヒートポンプユニット

●鳥居配管の高低差は
 $A+B < 3\text{m}$ 1山まで

貯湯ユニット



(断熱材付) 銅管 (φ12.7)

お願い

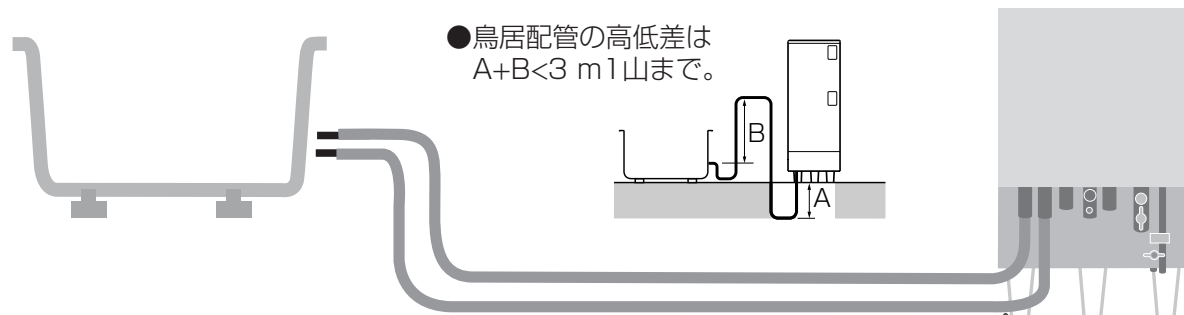
- ヒートポンプ配管はA—A、B—Bが正しく接続してください。(運転が停止します)
- 次の状態で配管してください。

	標準	最大
配管長	5m以下(片道)	15m以下(片道)
曲がり	5か所以内(片道)	6か所以内(片道)
断熱材の厚さ	10mm以上	20mm以上

- ツインチューブ配管では、正常な運転ができません。(A—A、B—Bの間で熱交換する) それぞれ独立したシングル配管をご使用ください。
- パッキンは、耐熱性のある材料を使用してください。(耐熱温度：90℃以上)

樹脂管を使うとき

酸性水地域でご使用の場合は、耐熱樹脂管の使用をおすすめします。



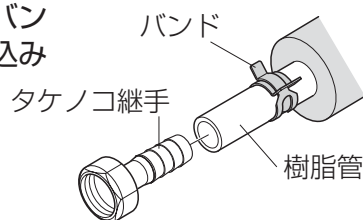
※タケノコ継手は樹脂管用ふる接続アダプターに4セット同梱されています。

●クイックファスナーを外して接続してください。接続後は確実にクイックファスナーを装着してください。

(P.20~21へつづく)

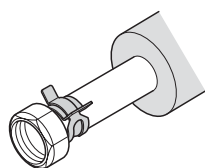
配管工事を始める前に…

①樹脂管にバンドを差し込み



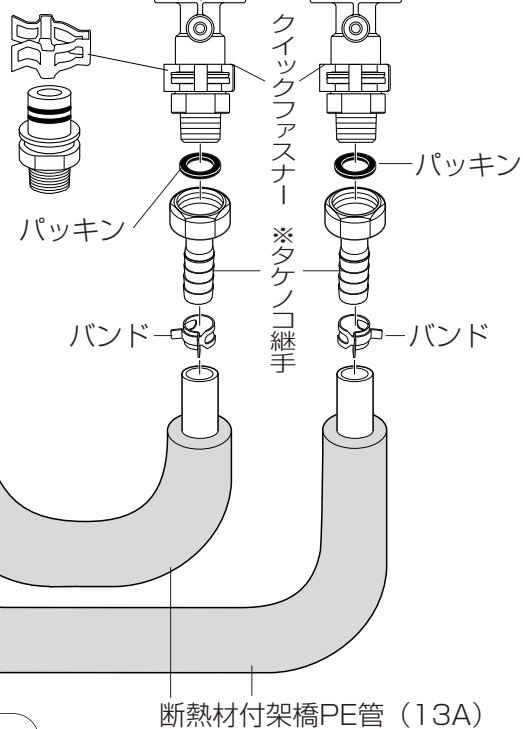
②タケノコ継手を樹脂管の中に押し込む

③バンドを手前に戻し、固定する



戻り

往き

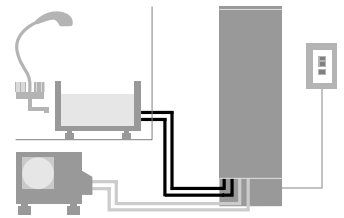


お願い

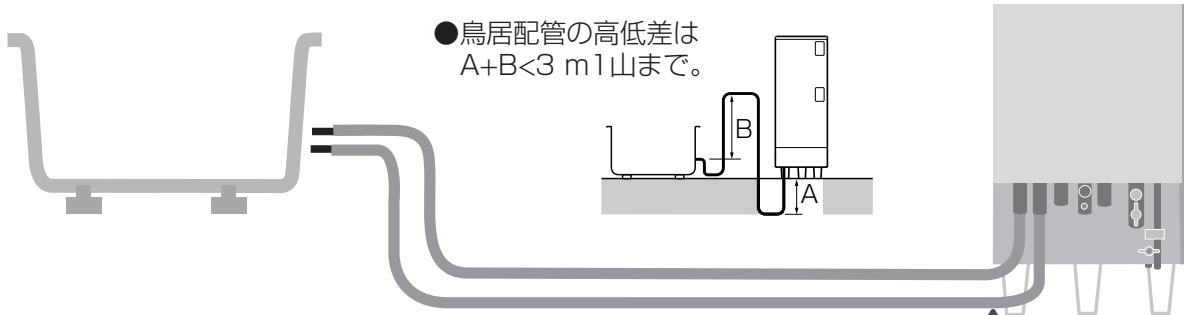
●次の状態で配管してください。

配管長	15m以下(片道)
曲がり	10か所以内(片道)
断熱材の厚さ	10mm以上

- 耐熱・耐食性を有する材料を使用してください。
- 架橋PE管は断熱材などで必ず保護してください。太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れします。(接続部分等、絶対に露出しないでください)
- フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。(50 cm以内、長くなると循環流量が低下)
- ふる配管の途中にフィルターを取り付けしないでください。(短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなる)

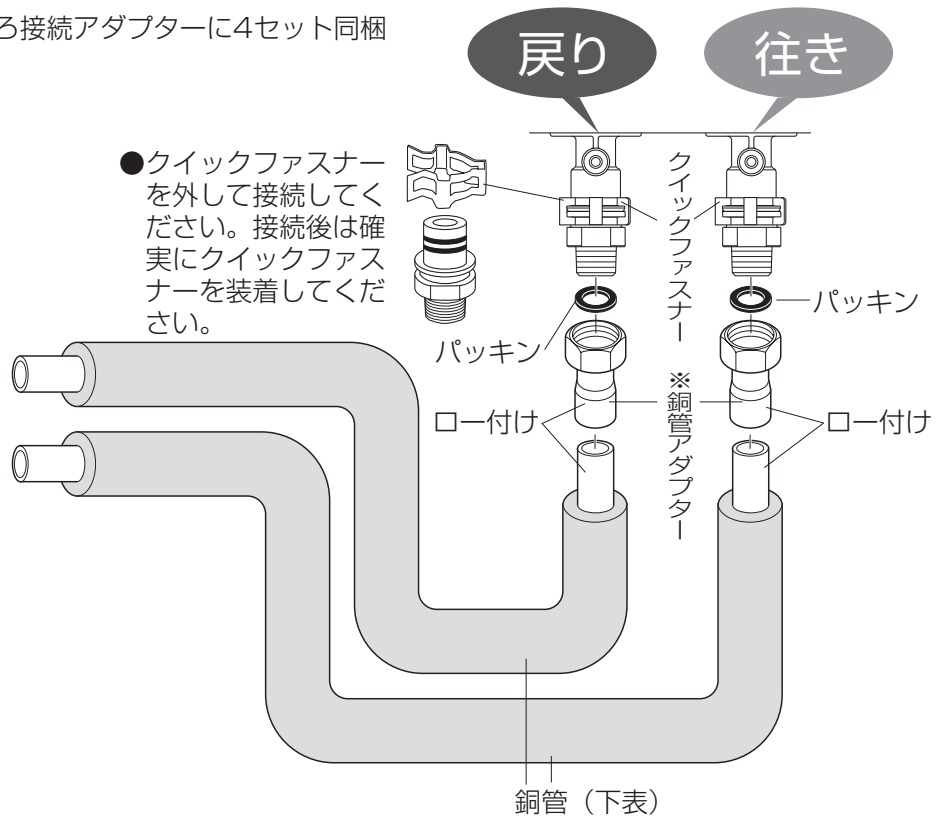


銅管を使うとき



※銅管アダプターは銅管用ふる接続アダプターに4セット同梱されています。

(P.20～21へつづく)



お願い

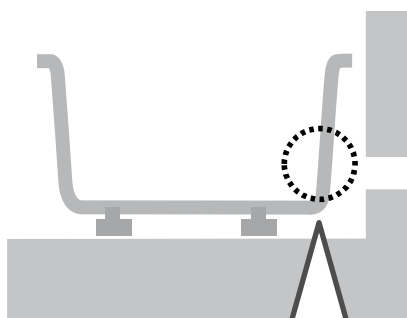
●次の状態で配管してください。

配管長	5m以下(片道)	15m以下(片道)
配管の種類	φ12.7銅管	φ15.88銅管
曲がり	3か所以内(片道)	10か所以内(片道)
断熱材の厚さ	10mm以上	

- 耐熱・耐食性を有する材料を使用してください。
- フレキ管は、配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみ使用してください。
(長くなると循環流量が低下)
- ふる配管の途中にフィルターを取り付けしないでください。
(短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなる)

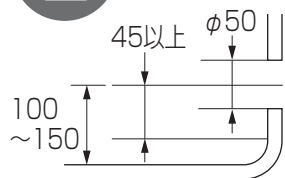
ふろ配管する (つづき)

浴そうに穴をあける



1 穴をあける (1か所)

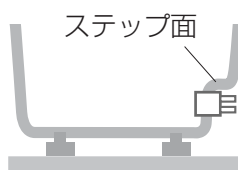
(単位: mm)



ふろ接続アダプター
取付用穴

- 取付位置が高いと、お湯はり最少湯量 (100L) が設定できません。

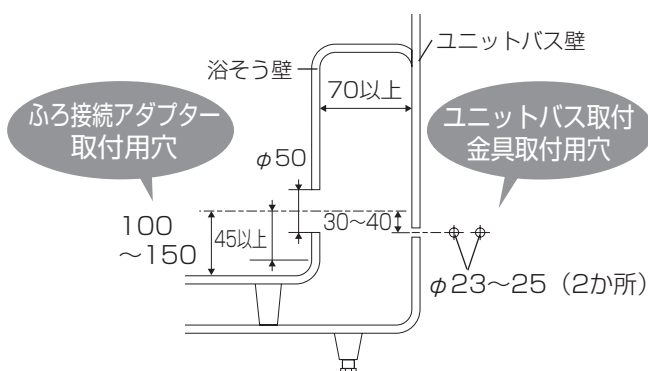
■ ステップ付き浴そうの場合



- 必ず、ステップ面より下に穴をあけてください。(お湯があふれたり、温度むらが発生)

■ ユニットバスの場合

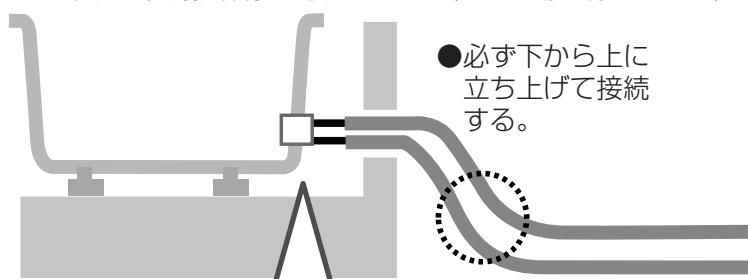
① 穴をあける (単位: mm)



- ふろ接続アダプターは、取付スペースが狭いため横出し (L型) を使用してください。
- フレキ管は現地調達してください。
- 浴そうとユニットバス壁間は70mm以上必要です。
- ユニットバスは、水漏れ防止のため「防水パン式」を推奨します。

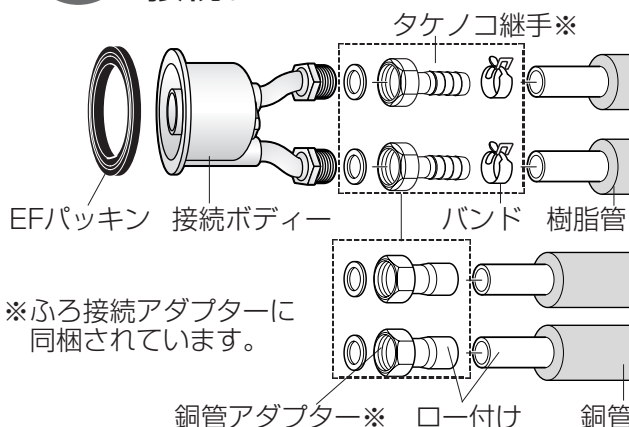
浴そうに

必ず無極性の専用別売部材をご使用ください。(十分な性能が得られません)



- 必ず下から上に立ち上げて接続する。

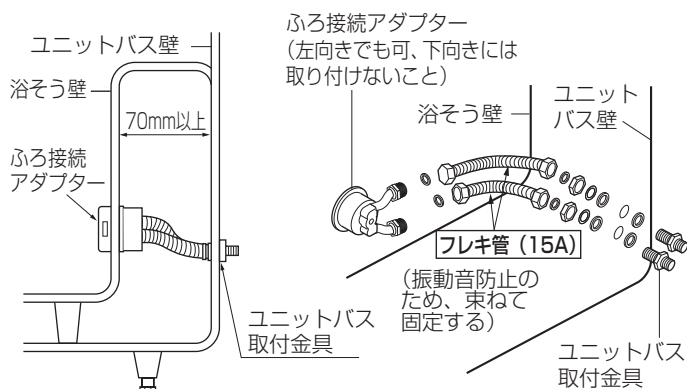
1 配管をふろ接続アダプターに接続する



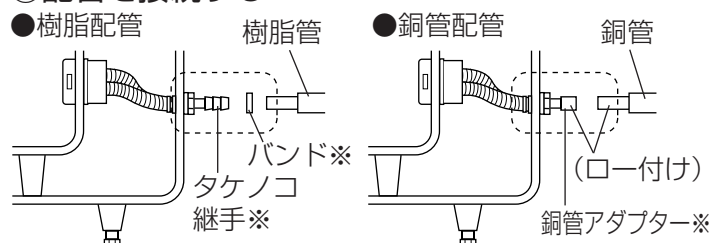
※ふろ接続アダプターに同梱されています。

■ ユニットバスの場合

① 浴そうにふろ接続アダプターを取り付け、ユニットバス壁間の配管をする

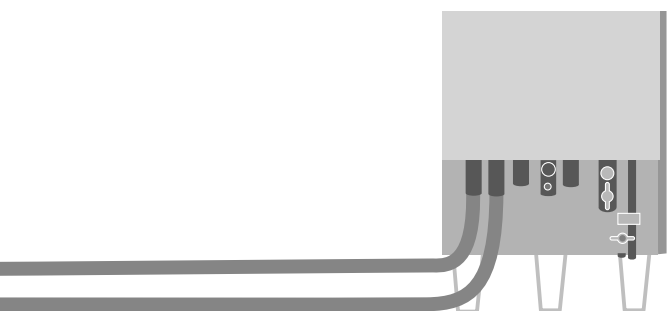


② 配管を接続する

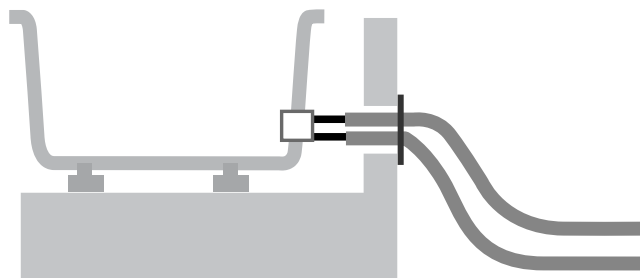


※ふろ接続アダプターに同梱されています。

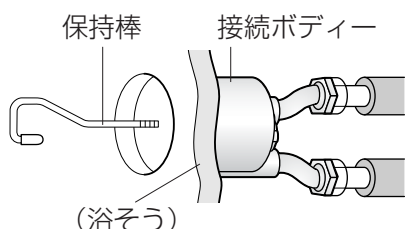
配管する



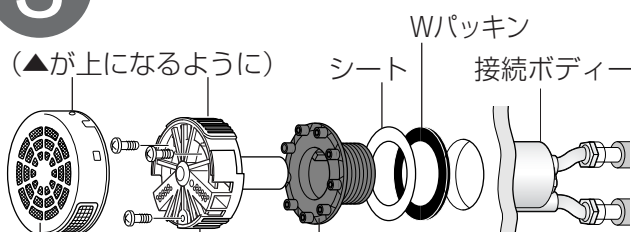
仕上げる



2 保持棒で、接続ボディを浴そうに引き寄せる



3 浴そうの内側から固定する

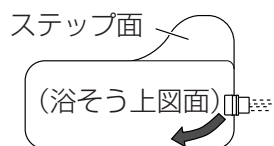


1. 固定ネジを接続ボディにねじ込む。

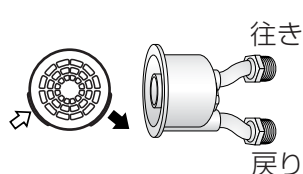
2. 吸込口キャップを取り付ける。

3. 浴そうフィルターを取り付ける。

■ステップ付き浴そうの場合 (ステップ面が側面するとき)



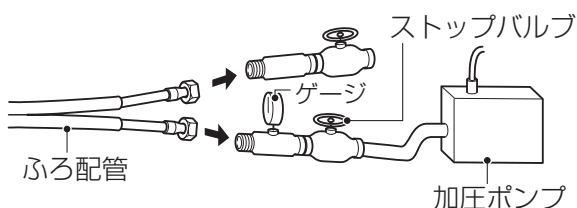
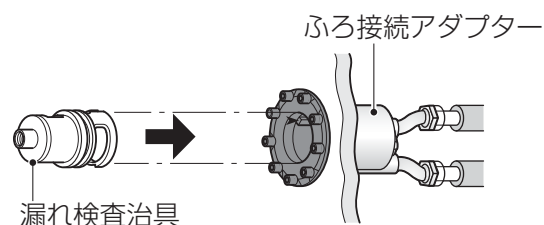
●必ず、ステップの反対側にお湯が吹き出すよう、取り付けてください。(温度むらが発生)



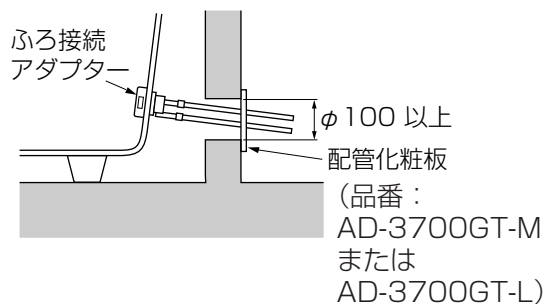
※専用のふろ接続アダプターは、中心に近い接続口に「行き」管を接続すると、右側からお湯が吹き出す。

1 水漏れ検査をする

- 専用の漏れ検査治具 (品番: AD-G381-Z) で漏れ検査を行ってください。
検査を行わないと、エアーがみして水位が狂うことがあります。
- 漏れ検査での加圧作業は、圧力を上げ過ぎないでください。(故障の原因)
 - ・ 水圧 200 kPa以下 または
 - ・ 空圧 100 kPa以下



2 配管化粧板で仕上げる



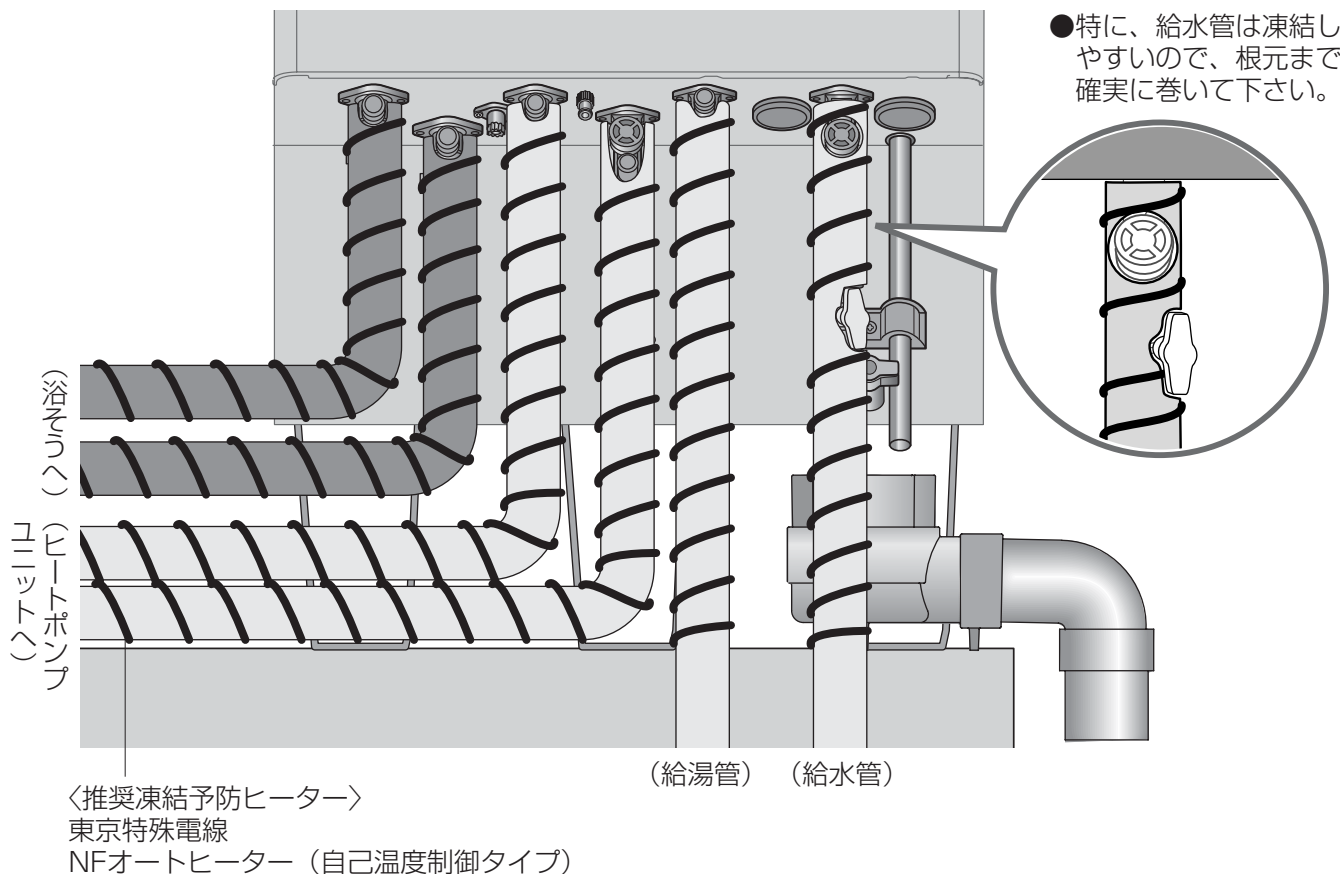
保温・凍結予防工事する

保温工事をする

準備：全系統の水漏れ確認をしてください。
(作業や輸送によるゆるみのおそれ)
配管接続部は、十分に確認してください。

凍結予防工事をする

保温工事をしていても周囲温度が0℃以下になると凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので、凍結予防ヒーターを巻いて加温してください。



お願い

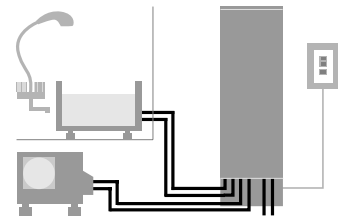
- 断熱材の厚さは、12ページに従ってください。
- ヒートポンプ配管は、A—A、B—B戻り管を独立して工事してください。
- 樹脂管は断熱材などで必ず保護してください。太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れします。(接続部分等、絶対に露出しないでください)

お願い

- 凍結予防ヒーターに同梱の断熱材をご使用ください。(故障の原因)
- 複数本使用するときは、適当な位置にコンセントを設けてください。
- 樹脂管の場合は、断熱材の上から巻いてください。(銅管の場合は、直接巻いてください)
- 配管に水がない状態では、絶対に凍結防止ヒーターに通電しないでください。

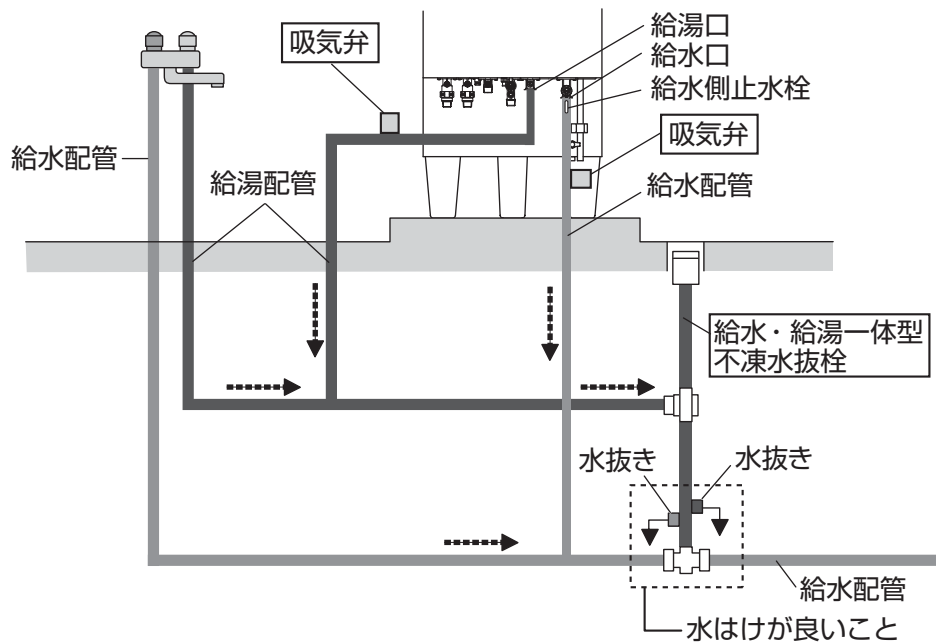
■ 冬場に風の強い地域や、局所的に寒波の来る地域、山間部の場合

- 貯湯ユニット内部の配管の凍結を防ぐため、別売の「凍結予防ヒーターセット」(品番：AD-HEDF21)をご使用ください。
- 脚部化粧力バーを取り付けて、凍結予防してください。(P.10)



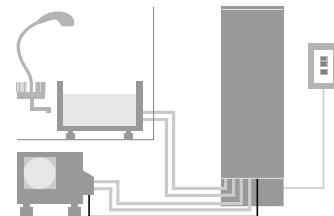
不凍水抜き栓による凍結予防工事

(配管例)



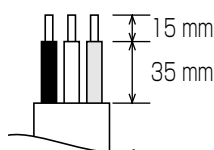
お願い

- 配管システムによっては、貯湯ユニット側の給水配管の水が抜けない場合があるため、吸気弁を取り付けてください。(推奨品(株)光合金製作所 自動吸気弁 品番:LKS)
- 水抜き部は、水はけ性を良くしてください。

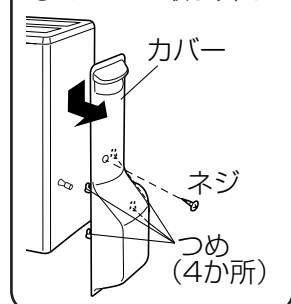


ヒートポンプユニットと貯湯ユニットを連絡する

準備: 連絡線を加工しておく。
(心線のむき代寸法が
15 mm以下だと接触不良
の原因)



●カバーの取り外し



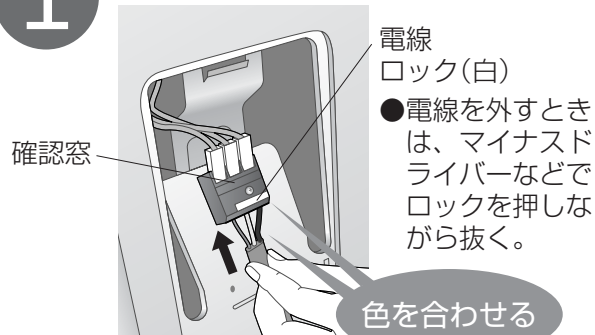
●前板はネジを外し、
手前に引いて外す。

●給水口左の電線貫通穴
(ブッシング付)を通す。

連絡線 (VVFφ2.0 3心)

●PF管で保護して
ください。

1 奥まで差し込む



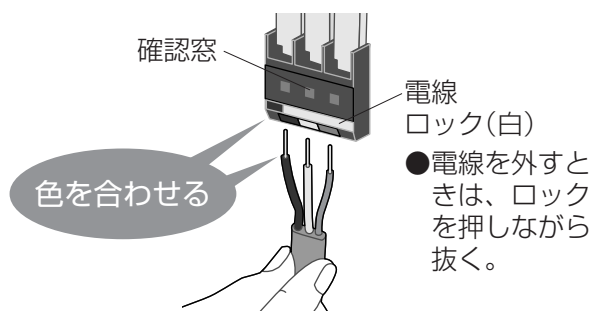
●確認窓で心線を確認する。
(挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、
発火のおそれ H90エラー表示)

2 コードを固定する



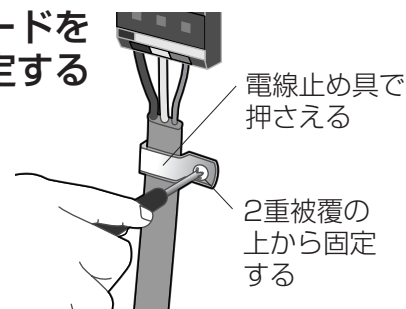
●カバーが浮き上がらないように、電線を成形する。

1 リード線の色を合わせて差し込む



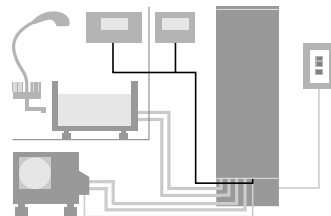
●確認窓で心線を確認する。
(挿入不足のときは、接触不良で過熱して発煙、
発火のおそれ H90エラー表示)

2 コードを固定する



配線 2

リモコン配線する



貯湯ユニットにリモコンコードを接続する

準備：リモコン側の接続は、リモコン同梱の工事説明書に従ってください。

増設リモコン



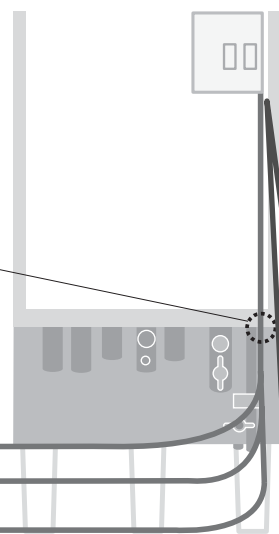
浴室リモコン



台所リモコン

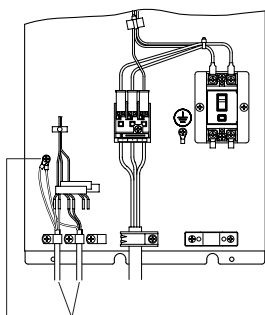


●給水口右の電線貫通穴（ブッシング付）を通す。



準備：リモコンコードを加工する

●心線のむき代寸法 5 mm



リモコンコード
(2心 0.5 mm²
または0.75 mm²)
リモコンアースネジ

1 各リモコンコードを かして接続する

●必ずラベルの表示に従って
接続してください。

(リード線の色)

増設用 (青)

浴室用 (橙)

台所用 (黄)

2 アース線を リモコンアース ネジで固定する

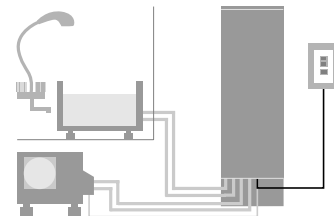
リモコンアースネジ

3 リモコンコードを 固定する

リモコン線止め具
(説明のため、実際の配置
とは異なります)
2重被覆の上から固定する。

●接続端子より心線
がはみ出さないよう
にしてかして
ください。

- 電磁波の強い場所では必ずシールド付リモコンコードを使用してください。
- リモコンコードは短絡しないように接続してください。短絡しているとリモコンが点灯しません。この場合は配線処置後、漏電しゃ断器を切・入してください。



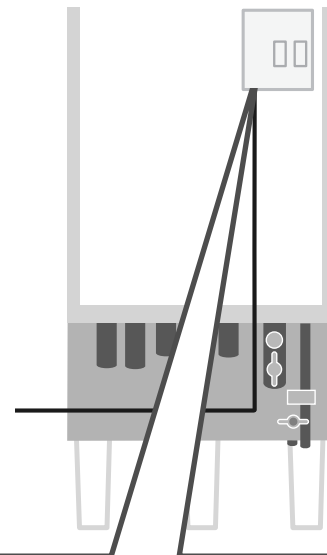
200 V電源工事をする

「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、指定工事業者が行ってください。
(この機種は単相200V電源工事が必要です)

- 準備:**
- ①必ず、所定の圧着工具で電源電線に圧着端子をかしめる。
(端子は漏電しゃ断器に取り付けられています)
 - ②電力契約が「時間帯別契約」または「季節別時間帯別契約」となっているか確認する。
(「深夜電力契約」はできません)



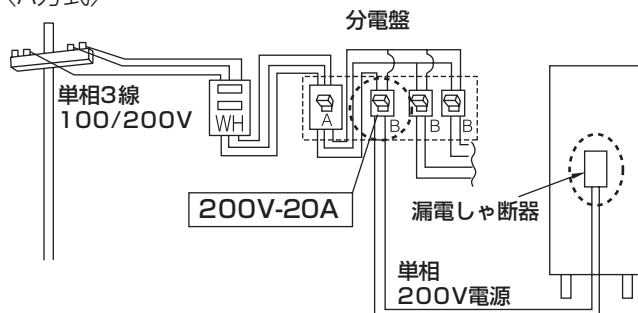
※電気温水器からの買い換え時は、必ず
今までの電力契約を確認してください。



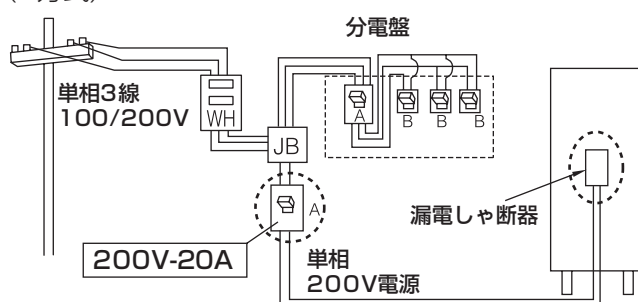
お願い

- 引込み配線方式 (A方式、B方式) を確認し、これに合わせた配線工事を行ってください。
- ヒートポンプ給湯機専用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。
- どの電力契約の場合でも電源工事は同じです。

<A方式>

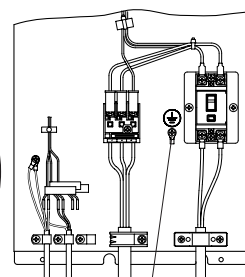


<B方式>



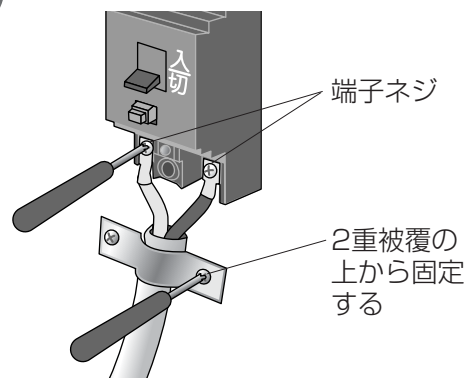
WH: 電力計計 A: 親配線用しゃ断器 B: 配線用しゃ断器 JB: 分岐ボックス

アース線付電源電線 (3心) のアース線または P.27 ④ のアース線を接続します



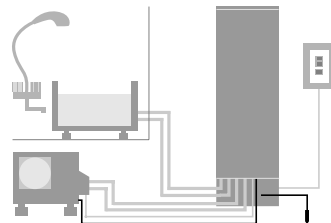
アース端子 — 電源電線

1 端子と電源電線を固定する



- 端子ネジは確実に締めてください。ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれがあります。

2 リモコンコードがかみ込まないように前板を取り付ける

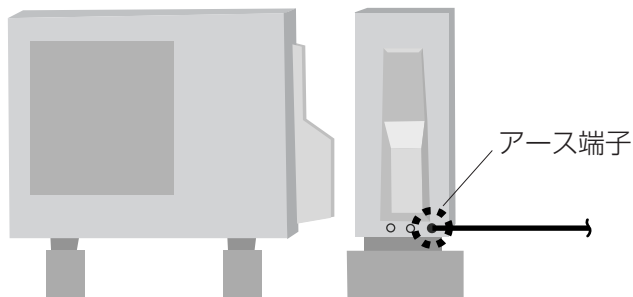


アース工事をする

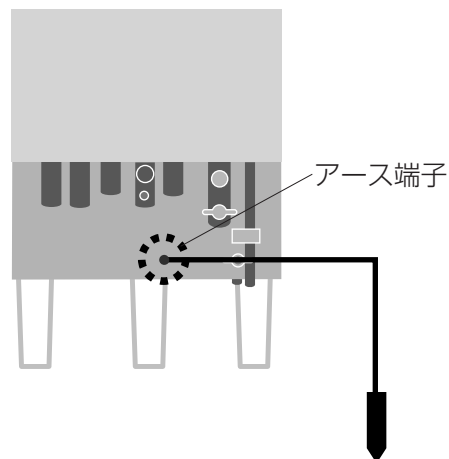
必ず「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

ヒートポンプユニット

(側面)

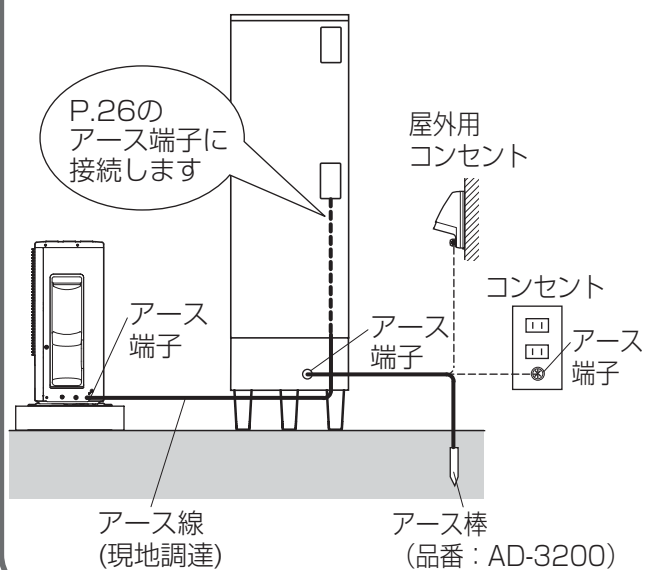


貯湯ユニット



① <ユニット共通のアース工事をする場合>

- アース棒を1本使用する工事例です。



- アース工事は、上図または右図の方法で確実に行ってください。
- 接地抵抗値は100 Ω以下であることを確認してください。



警告

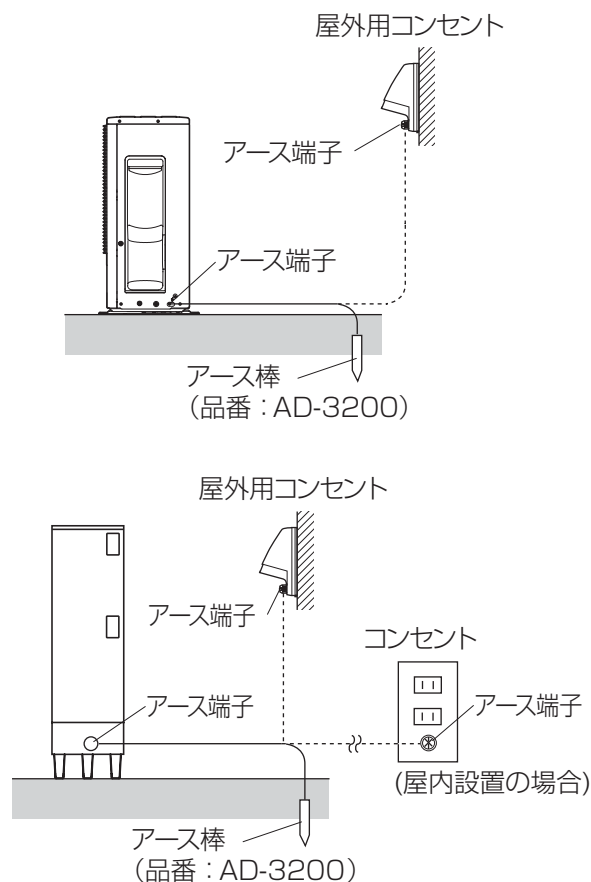


アース工事 (D種接地工事) を行う

(故障や漏電のときに感電の原因になります)

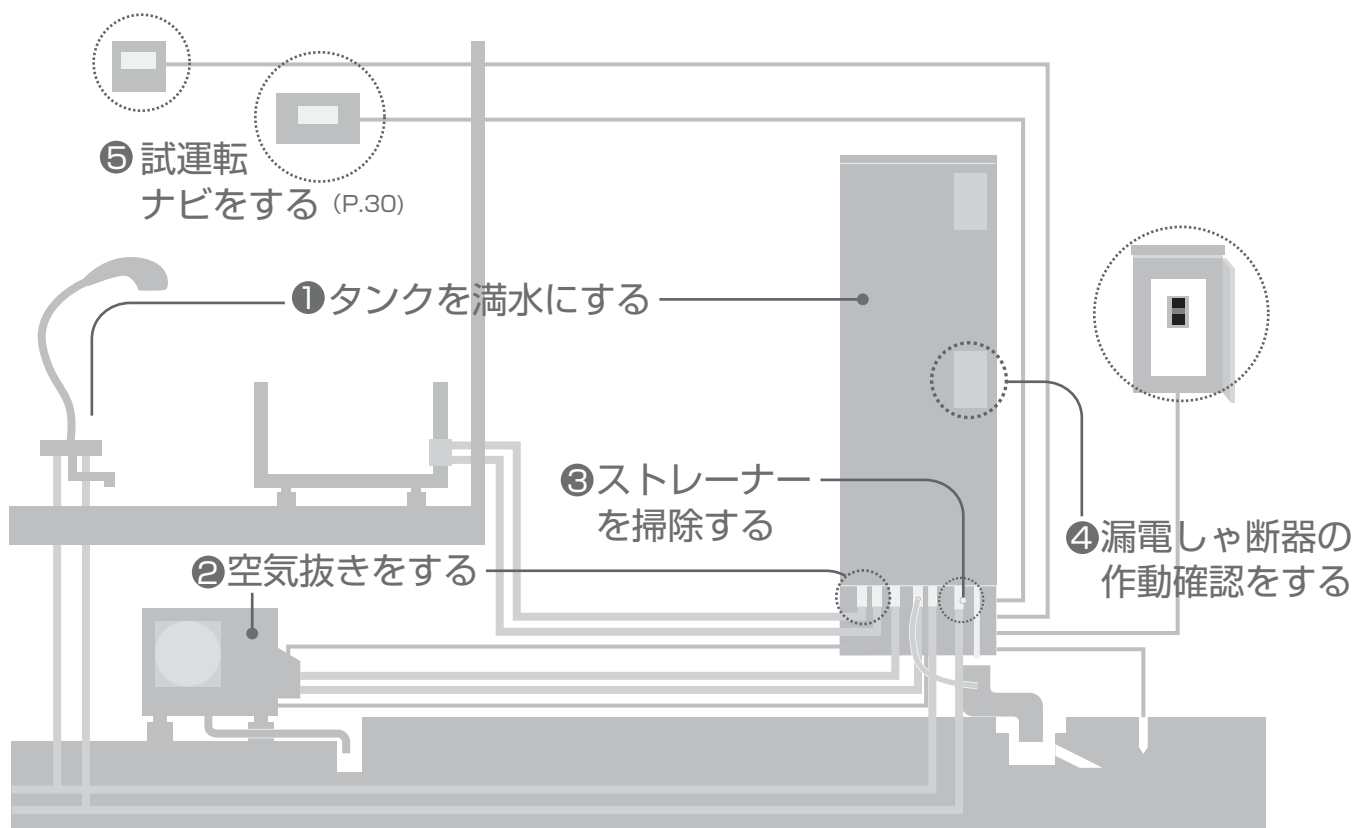
② <ユニット個々にアース工事する場合>

- アース棒を2本使用します。

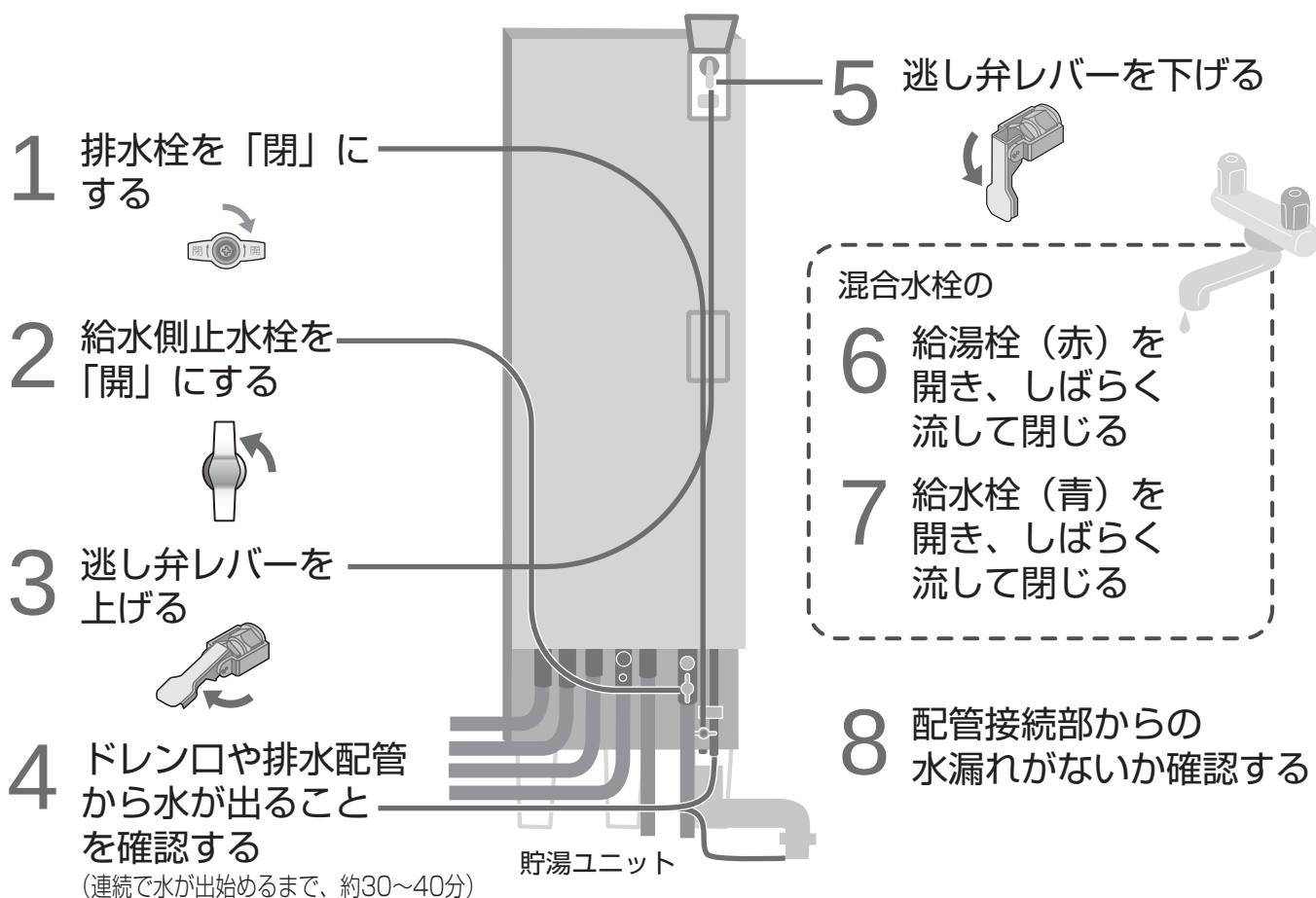


- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、または漏電しゃ断器を入れた他のアース回路には接続しないでください。
- アース線は、緑色の直径1.6 mm以上の単線、または断面積1.25 mm²以上のより線を使用してください。

試運転する

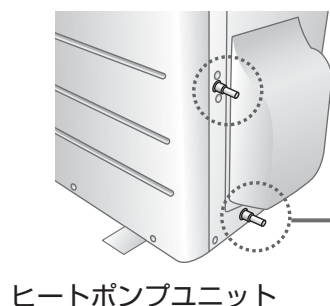


① タンクを満水にする

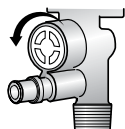


②ヒートポンプユニットの空気抜きをする

必ず手順に従って空気抜きを行ってください。不十分な場合は、給湯機の故障の原因になります。

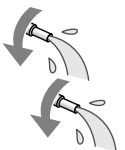


1 水側バルブを「開」にする



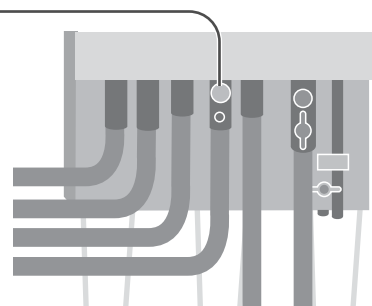
●工場出荷時は「開」になっていますが、確認してください。

2 水抜き栓（2か所）を開く



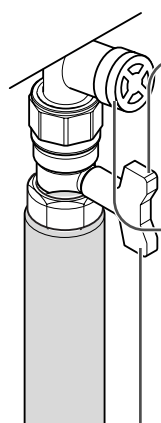
●1回転以上回して、勢いよく水が出ることを確認してください。（1分以上）

3 水抜き栓（2か所）を閉じる



貯湯ユニット

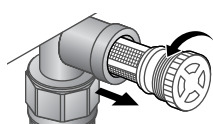
③ストレーナーを掃除する



1 給水側止水栓を「閉」にする



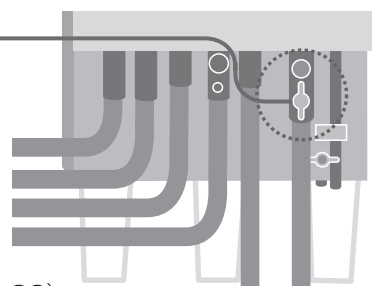
2 ストレーナー（フィルター）を外す



●内部配管の水が約30秒間（約200 CC）出てきます。

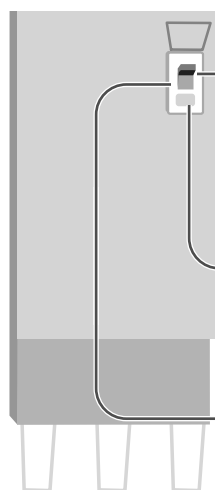
3 ストレーナーを水洗いして戻す

4 給水側止水栓を「開」に戻し水漏れがないか、確認する



貯湯ユニット

④漏電しゃ断器の作動確認をする

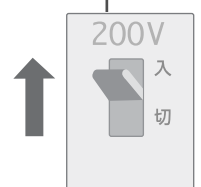


1 配線用しゃ断器を「入」にする

2 漏電しゃ断器を「入」にする

3 テストボタンを押し、漏電しゃ断器が「切」になるか確認する

4 漏電しゃ断器を「入」に戻す



配線用しゃ断器

●外気温が低いと漏電しゃ断器を「入」にしたとき、凍結予防のためにポンプが作動する音がします。（異常ではありません）

次ページへつづく▶

試運転する (つづき)

⑤試運転ナビをする

漏電しゃ断器を「入」にすると、リモコンの表示が「試運転ナビ」になります。
試運転ナビを完了するまで、使用することはできません。

●試運転は台所リモコンおよび浴室リモコンで行います。(所要時間30～40分間)



(台所リモコン)

試運転ナビ
試運転のご案内をします。確定スイッチを押してください。



試運転ナビ 1
タンクは満水になっていますか。
確定スイッチで次へ



試運転ナビ 2
ストレーナーの掃除はしましたか。
確定スイッチで次へ



試運転ナビ 3
漏電しゃ断器の作動は確認しましたか。
確定スイッチで次へ



試運転ナビ 4
2008年 5月25日 10:39
▲スイッチで設定へ
確定スイッチで次へ



日付設定
2008年 5月 26日
▼ 年 ▲

時刻設定
10:40
▼ 時刻 ▲

● ▼ ▲ で合わせ
確定 で次へ。



契約電力会社をお選び下さい。



試運転ナビ 5 1/4
東京電力
東北電力
関西電力

試運転ナビ 5 1/4
やりくりナイト8
やりくりナイト10
やりくりナイトS

● ▼ ▲ で選び
確定 で次へ。

試運転ナビ 5
東北電力
やりくりナイト8
確定スイッチで次へ



地域によって表示が異なります。

(裏表紙を参照)

試運転ナビ 6
ヒートポンプの空気抜きはしましたか。
確定スイッチで次へ



ふろ試運転をします。
浴室リモコンを操作してください。



(P31へ)

試運転中、異常表示が出たら…

1. 漏電しゃ断器を「切」にする
2. サービス説明書で原因を確認する
(サービス説明書は、貯湯ユニット前板裏面に貼っています。使用後は元に戻してください)
3. 処置をする
4. 漏電しゃ断器を「入」にし、再開する



(浴室リモコン)

浴そう水を抜いて
栓をしてください。
確定スイッチで次へ

確定

お願い P.31

ふろ試運転は
約180 L注水します。

沸き上げ試運転中、
ふろ試運転中です。
約30分かかります。

.....

ふろ試運転完了です。
最少湯量 **120L**
確定スイッチで次へ

確定

沸き上げ試運転が早
く終わると、表示さ
れません。

試運転ナビ 7
沸き上げ機能を確認
中です。

.....

沸き上げ試運転は
正常に完了しました。
確定スイッチで次へ

確定

試運転ナビ 8
試運転ナビ完了です。
お疲れ様でした。

- 確実に終了を確認する。
(中止されると、再度電源が入ったとき、再び試運転ナビになります)
- 試運転ナビが終了すると通常画面に戻ります。

・ 沸き上げ開始時、外気温が高いときは、送風ファンが停止し圧縮機だけがしばらく運転します。
・ 沸き上げ湯量設定に関係なく沸き上げします。
沸き上げ終了後にも「沸上中」が表示されていることがあります。

- 沸き上げ・ふろ試運転に異常のないことを確認する。
- 表示が出てから10～15分後、ヒートポンプユニット配管のB(湯側)が熱くなることを確認する。

お願い

■最少湯量表示について

- ふろ試運転後、浴室リモコンの表示部に最少湯量が表示されます。
湯量は浴そうの大きさや、ふろ接続アダプターの取り付け位置によって変わります。
ふろ接続アダプターが標準寸法 (P20: 高さ100～150 mm) にある場合、最少湯量表示は標準的な浴そうで100～140 Lとなります。
- 試運転時に、浴そうの栓が確実に閉まっていなかったり、閉めるのが遅れた場合、また、ふろ接続アダプターの配管接続部が緩んでいた場合などは、最少湯量は多めに表示されます。
このような場合は、浴そう栓を閉め、ふろ接続アダプターの配管接続部のゆるみを確認してから、再度ふろ試運転を行ってください。

■磁石を近づけないでください。

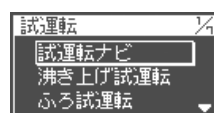
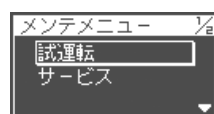
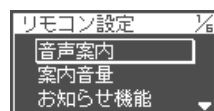
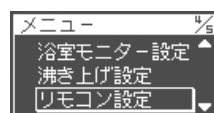
- 貯湯ユニットの外装に磁石を貼ったり近づけたりしないでください。
誤動作のおそれがあります。(H25エラー表示)

再度、試運転を行うには…

試運転ナビが始まらないときや、登録の変更・追加をするときは、台所リモコンから「試運転」を行うことができます。



(台所リモコン)



- で「リモコン設定」を選び、
 を押す。

- を10秒間押す。

- で「試運転」を選び、
 を押す。

- で行う項目を選び、
変更する。

次の項目の試運転や登録ができます

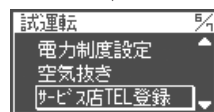
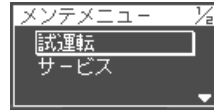
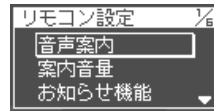
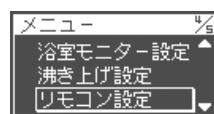
- ・ 試運転ナビ ・ 沸き上げ試運転* ・ ふろ試運転*
- ・ 電力制度設定* ・ 空気抜き* ・ サービス店TEL登録
- ・ ヒートポンプ配管設定*

・ *の項目は、浴室リモコンでもできます。

■ サービス店の電話番号を登録するとき



(台所リモコン)



- 「リモコン設定」を選び、
 を押す。

- を10秒間押す。

- で「試運転」を選び、
 を押す。

- 「サービス店TEL登録」を選び、
 を押し、
 を押す。

- で番号を合わせ、
 を押す。

水抜きする（冬期工事時）

お引き渡しまでに凍結のおそれがあるときは、浴そうに水をはり、電源を「入」にしておいてください。
（自動的に凍結予防運転をします）

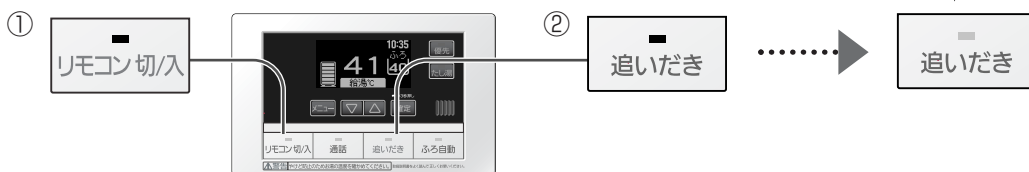
電源を「切」にする場合は、以下の手順で水抜きをしてください。

※凍結による修理は保証の対象外です。ご注意ください。

ふろ配管

1 浴そうを空にする

2 ふろ配管に残った水を抜く（浴室リモコン）



貯湯ユニット

3 配線用しゃ断器（ブレーカー）と漏電しゃ断器（貯湯ユニット）を「切」にする

4 貯湯ユニット内の水を全て排水する

①混合水栓のお湯側と水側を開き、熱いお湯が出なくなるまで出す

②水側を閉める

③給水側止水栓を閉じる

④逃し弁レバーを上げる

⑤排水栓を開き、排水する（約2時間かかります）

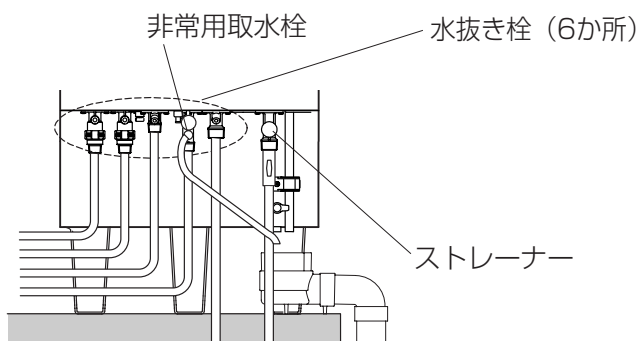
⑥排水口や排水配管から水が出なくなったら、混合水栓のお湯側と、排水栓を閉じる

5 貯湯ユニット内の配管などに残った水を抜く

①水抜き栓、非常用取水栓を左に回してゆるめ、水を抜く
ストレーナーは、はずす

②水が出なくなったら、水抜き栓、非常用取水栓を閉め
ストレーナーを取り付ける

③逃し弁レバーを下げる

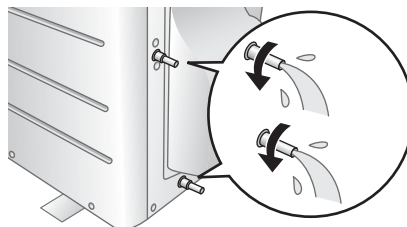


ヒートポンプユニット

6 水側バルブの「開」を確認後ヒートポンプユニット内の水を抜く

①水抜き栓（2か所）を開き、水を抜く

②水が出なくなったら、すべて閉じる



工事チェックをする

据付

チェック

- ☐ ①近くにガス類容器や引火物を置いていませんか。
- ☐ ②工事説明書に従って点検スペースを確保していますか。
- ☐ ③貯湯ユニットの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しない場所に設置していますか。
- ☐ ④床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていますか。
- ☐ ⑤貯湯ユニット脚部は、アンカーボルトで固定していますか。
- ☐ ⑥貯湯ユニット上部は強度のある壁に固定していますか。(2階以上の場合は、必ず固定)

〈据付工事店様記入〉

据付工事 店名	電話番号	担当者名
------------	------	------

配管

チェック

- ☐ ①水道水を使用していますか。(井戸水は使用不可)
- ☐ ②タンク排水時、排水エルボや排水溝より水があふれませんか。
- ☐ ③排水経路には、5 cm以上の吐水口空間がありますか。
- ☐ ④ヒートポンプユニットの排水処理をしていますか。
- ☐ ⑤給水配管に給水側止水栓が取り付けられていますか。
- ☐ ⑥工事説明書に従った配管径、配管長、曲がり配管工事をしていますか。
- ☐ ⑦ヒートポンプユニット配管は、A-A、B-B正しく接続していますか。(逆接続するとH92エラー表示)
- ☐ ⑧ヒートポンプユニット配管はツインチューブではなく独立した配管にしていますか。
- ☐ ⑨ふろ接続アダプターは専用別売部材を使用していますか。
- ☐ ⑩保温工事は、適切に行っていますか。
給水・給湯配管、ヒートポンプユニット配管、ふろ配管に断熱材を巻いていますか。
- ☐ ⑪凍結のおそれがある場合は、凍結予防ヒーターを巻いていますか。

〈据付工事店様記入〉

据付工事 店名	電話番号	担当者名
------------	------	------

配線

チェック

- ☐ ①電源は200 V配線をしていますか。(誤って100 V配線をするとH95エラー表示)
- ☐ ②電源電線の端子ネジは確実に締まっていますか。(ゆるんでいると過熱して発煙、発火のおそれ)
- ☐ ③貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットのアース工事は適切に行っていますか。
- ☐ ④専用の配線用しゃ断器(ブレーカー)が取り付けられていますか。
- ☐ ⑤ユニット間の連絡線は確実に接続されているか確認しましたか。
(接続不良の場合、過熱して発煙、発火のおそれ、H90エラー表示)
- ☐ ⑥リモコンは、リモコンの工事説明書に従い確実に固定されていますか。

〈据付工事店様記入〉

据付工事 店名	電話番号	担当者名
------------	------	------

点検

チェック

- ☐ ①タンクを満水にし、水漏れがないかを確認しましたか。
- ☐ ②ストレーナー（フィルター）の掃除をしましたか。
（配管工事のごみなどがストレーナーにつまり、流量低下する場合があります）
- ☐ ③ヒートポンプユニットの空気抜きをしましたか。（空気抜き不十分のとき、H94エラー表示）
- ☐ ④漏電しゃ断器は、正常に作動しますか。
- ☐ ⑤ヒートポンプ配管のA（水側）の水側バルブが「開」になっていますか。
（「閉」のとき、H94エラー表示）
- ☐ ⑥試運転ナビを行い、異常がありませんでしたか。
- ☐ ⑦ふろ試運転後に表示される最少湯量の値は、正常な範囲でしたか。
- ☐ ⑧お客様の電力会社との契約の設定になっていますか。（試運転ナビで設定）
- ☐ ⑨リモコンの時刻は合っていますか。（正しく合わないと、沸き上げ開始時刻が変わってきます）
- ☐ ⑩ふろ循環中に水漏れ、エアーがみしていないか確認しましたか。
（最少湯量が大きくなったり、設定した湯量にならずに浴そうのお湯があふれる場合があります）
- ☐ ⑪お湯や水を止めたとき、衝撃音（ゴン・ゴンという音）や振動を生じる現象はありませんか。
お湯や水を急に止めたときに起こりやすい現象で「ウォーターハンマー（水撃音）現象」といいます。
水圧が高いときや流速が早いとき等に発生しやすくなります。このような場合は水撃防止装置を取り付けるか、ウォーターハンマー低減機構付きシングルレバー型および一時止水機構付きの混合水栓のご使用をおすすめします。取り付け・交換はお客様のご意向に沿って行ってください。
- ☐ ⑫シャワーからの流量は確認しましたか。
（シャワー流量が少ないとき、給水圧力と給水口のストレーナー、カランの給湯側止水栓を確認）
- ☐ ⑬サービス店TEL登録をしましたか。
- ☐ ⑭凍結のおそれがある場合、電源は「入」になっていますか。電源を切る場合は、「水抜きする」（P.33）に従い、水抜きを行いましたか。（冬期工事時）

〈据付工事店様記入〉

据付工事 店名	電話番号	担当者名
------------	------	------

お引き渡しする

■ お引き渡しの際は…

- 取扱説明書をお読みいただき、お客様に次の説明をしてください。
 - ・漏電しゃ断器、配線用しゃ断器、給水元栓の場所
 - ・非常用取水栓の使用方法
 - ・安全上の注意
 - ・定期点検について
 - ・浴そう、タオルなどが青くなることがある
 - ・リモコンの操作方法と各種設定
- お客様のご希望に合わせて、「ふろ温度・ふろ湯量」を設定してください。
- お客様がその日からお湯を使われるときは「沸き増しスイッチ」を押してください。（何もしなければタンクの水が全量沸き上がるのは、翌朝になります）
- 保証書に所定事項（ご販売店名・工事店名印・据付年月日など）を記入し、取扱説明書、工事説明書と一緒にお客様にお渡しください。
※保証書への記入がないと、無料修理をお引き受けできないことがあります。

各電力会社別電力契約と対応電力制度表示

ご契約の電力料金契約に合わせて、対応する電力制度を選んで設定してください。(P.30)

●：対象

電力会社名	電力契約	名称	深夜時間帯	対応電力制度（直接設定）											
				H08	H09	H17	※F08	※B08	H16	H18	H10	H19	o17	o08	
東北電力	時間帯別電灯契約	やりくりナイト8	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		やりくりナイト10	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—		
		やりくりナイトS	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—		
東京電力	時間帯別電灯契約	おトクなナイト8	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		おトクなナイト10	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	電化上手	23:00~7:00	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—		
中部電力	時間帯別電灯契約	タイムプラン	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	Eライフプラン	23:00~7:00	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—		
北陸電力	時間帯別電灯契約	エルフナイト8	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	エルフナイト10	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—		
		エルフナイト10プラス	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—		
関西電力	時間帯別電灯契約	—	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	はぴeタイム	23:00~7:00	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—		
中国電力	時間帯別電灯契約	エコノミーナイト	23:00~8:00	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	ファミリータイム	23:00~8:00	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—		
四国電力	時間帯別電灯契約	得トクナイト	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	電化Deナイト	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
九州電力	時間帯別電灯契約	—	23:00~7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		よかナイト10	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—		
	季節別時間帯別電灯契約	電化deナイト	22:00~8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—		
沖縄電力	時間帯別電灯契約	—	23:00~7:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●		
	季節別時間帯別電灯契約	Eeらいふ	23:00~7:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●		

※リモコンの電力制度表示部に「F08」、「B08」を表示しますが、対応電力制度はありません。(2008年3月現在)